

2025 年 3 月 27 日

社会福祉法人檸檬会との「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約締結について ～持続可能な地域社会の実現に向けてお客さまのサステナビリティ経営を支援～

南都銀行（頭取 橋本 隆史）は、2025 年 3 月 27 日に社会福祉法人檸檬会（以下、同社）と自行組成の「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」は、お客さまの企業活動が環境・社会・経済に与えるポジティブならびにネガティブな影響を特定し、ネガティブな効果を緩和しながらポジティブな効果を増大させるお客さまの取組を支援するご融資です。

同社は、ネガティブ・インパクトを低減する領域のテーマに「環境に配慮した取組」を、ポジティブ・インパクトの拡大を目指す領域とネガティブ・インパクトを低減する領域の両方に関連する領域のテーマに「ソーシャルインクルージョンの実現に向けた取組」、「従業員の安心・安全に配慮し、誰もが働きやすい職場環境の創出に向けた取組」、「保育の質の向上に向けた従業員のスキルアップ・キャリアアップへの取組」、「ダイバーシティ経営に向けた取組」を特定し、それぞれに目標と K P I を設定しました。当行は、定期的に達成状況や管理状況を確認し、対話やフォローアップを通じてサステナビリティ経営の実現をサポートします。

なお、本件および本制度のフレームワークが国連環境計画金融イニシアティブ（U N E P F I）の提唱する「ポジティブ・インパクト金融原則」および「資金使途を限定しない事業会社向け金融商品のモデル・フレームワーク」に適合していることについて、株式会社日本格付研究所により第三者意見を取得しています。

当行グループは本商品を通じて地域全体での S D G s 達成に向けた取組をリードしていくことで、持続可能な地域の成長・発展に貢献してまいります。

【本件の概要】

契約日		2025 年 3 月 27 日
契約先	住所	和歌山県紀の川市古和田 240
	企業名	社会福祉法人檸檬会
	代表者	理事長 前田 効多郎
	設立年月日	2007 年 2 月 14 日
融資金額		250 百万円
資金使途		設備資金

【本件に関するお問い合わせ先】

法人ソリューション部 だんじょう 檀上・永安 TEL 0742-27-1558

経営企画部（広報担当） こうむら 甲村 TEL 0742-27-1599

ポジティブインパクトファイナンス評価書

評価対象企業：社会福祉法人檸檬会

2025年3月27日
南都コンサルティング株式会社

1. 借入金の概要	2
2. 事業概要	2
社会福祉法人檸檬会の基本情報	2
社会福祉法人檸檬会のグループ企業	4
事業理念等	5
事業内容	6
サステナビリティ基本方針	17
サステナビリティ活動	17
3. 包括的分析	21
UNEP FIの定めたインパクト評価ツールにより確認したインパクト一覧	21
檸檬会の個別要因を加味したインパクトの特定	22
インパクトに係る戦略的意図やコミットメント	23
4. KPIの決定	24
ポジティブインパクトとネガティブインパクトの内容	26
5. インパクトの種類、SDGs、貢献分類、影響を及ぼす範囲	38
6. サステナビリティ経営体制（推進体制、管理体制、実績）	40
7. 南都銀行によるモニタリングの頻度と方法	41

南都コンサルティング株式会社は、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した「ポジティブ・インパクト金融原則（PIF原則）」および「資金使途を限定しない事業会社向け金融商品のモデル・フレームワーク（モデル・フレームワーク）」に適合させるとともに、ESG金融ハイレベル・パネル設置要綱第2項（4）に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に整合させた上で、社会福祉法人檸檬会（以下、檸檬会）の包括的なインパクト分析を行った。

株式会社南都銀行は、本評価書で特定されたポジティブインパクトの向上とネガティブインパクトの低減に向けた取組を支援するため、檸檬会に対し、ポジティブインパクトファイナンスを実施する。

1. 借入金の概要

借入人の名称	社会福祉法人檸檬会
借入金の金額	250,000,000円
借入金の資金使途	設備資金
モニタリング期間	20年

2. 事業概要

■ 社会福祉法人檸檬会の基本情報

企業名	社会福祉法人檸檬会	
本社所在地	和歌山県紀の川市古和田240	
従業員数	973名（2024年10月時点）	
事業収益	76億円（2024年3月期）	
主たる事業内容	【保育事業】 - 認可保育園・認定こども園の運営 - 公立保育所の指定管理 - 小規模保育園の運営 - 企業主導型保育施設の運営 - プリスクールの運営 - 放課後児童健全育成事業の運営 - 一時預かり事業の運営 - 地域子育て支援拠点事業の運営 - 児童厚生施設の運営 - 病児保育事業の運営 【障がい者福祉事業】 - 就労移行支援事業の運営 - 就労継続支援事業の運営 - グループホームの運営 - 指定特定相談支援事業の運営 【児童福祉事業】 - 児童発達支援事業の運営 - 指定障がい児相談支援事業の運営	

事業拠点

【本部】 法人本部： 和歌山県紀の川市古和田240 東京本部： 東京都港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー7F 大阪本部： 大阪市北区天神橋2-5-16 星合ビル3F 奈良本部： 奈良県生駒郡三郷町立野北 3-12-5 【こども園】 (和歌山県) レイモンド こども園 由良町立ゆらこども園 (滋賀県) レイモンド 大萱こども園 レイモンド 瀬田こども園 レイモンド みらい園 レイモンド 長浜南こども園 レイモンド 長浜こども園 【認可保育園】 (東京都) レイモンド 中瀬保育園 レイモンド 下高井戸保育園 レイモンド 鳥越保育園 レイモンド 花畑保育園 レイモンド 南蒲田保育園 レイモンド 調布保育園 レイモンド 田無保育園 レイモンド 南町田保育園 (埼玉県) レイモンド 川越保育園 レイモンド 坂戸保育園 レイモンド 新三郷保育園 レイモンド 戸ヶ崎保育園 (千葉県) レイモンド 汐見丘保育園 (神奈川県) レイモンド 元住吉保育園 レイモンド 中原保育園 レイモンド 川崎保育園 レイモンド 湘南保育園 レイモンド 茅ヶ崎保育園 レイモンド 橋本保育園 レイモンド 橋本保育園分園 レイモンド 西橋本保育園 (大阪府) レイモンド 西淀保育園 レイモンド みてじま保育園 レイモンド おひさま保育園 レイモンド 梅田北保育園	(京都府) レイモンド 向日保育園 (奈良県) レイモンドヒルズ保育園 レイモンド 斑鳩こども園 レイモンド 平群こども園 (滋賀県) レイモンド 大津保育園 レイモンド 淡海保育園 レイモンド 大藪保育園 レイモンド 東矢倉保育園 レイモンド 甲賀こども園 (愛知県) レイモンド 小牧保育園 豊山町立青山保育園 レイモンド 庄中保育園 (沖縄県) レイモンド あしびなー保育園 【小規模保育園】 (大阪府) れもんのこ 玉造保育園 れもんのこ 南本町保育園 れもんのこ 杉本保育園 れもんのこ 昭和町保育園 れもんのこ 清水保育園 れもんのこ 彩都保育園 れもんのこ 富田保育園 (滋賀県) れもんのこ 近江八幡保育園 れもんのこ 南草津保育園 れもんのこ 安土保育園 れもんのこ 老上保育園 れもんのこ 瀬田駅前保育園 れもんのこ 草津保育園 【企業主導型】 (大阪府) Kid's&More 南本町保育園 Kid's&More 杉本保育園 COCOAS KIDS 彩都校 (滋賀県) Kid's&More 瀬田保育園 【学童保育】 (滋賀県) レイモンド みらい園児童クラブ Kid's&More 老上児童クラブ Kid's&More 玉川児童クラブ/キッズクラブ Kid's&More 南草津児童クラブ Kid's&More 大萱児童クラブ Kid's&More 淡海児童クラブ/キッズクラブ (愛知県) 放課後児童クラブ なかよし会 (和歌山県) 放課後児童クラブ 太陽の子 (千葉県) レイモンド 汐見丘児童クラブ	【児童発達支援事業所】 (滋賀県) レモネードキッズ 近江八幡 レモネードキッズ 草津 【就労移行支援事業所】 (東京都) LIIMO 調布 LIIMO 国分寺 (大阪府) LIIMO 大正 LIIMO 南森町 LIIMO 阿波座 【就労継続支援事業所】 (大阪府) レイモンドBK 弁天町 (兵庫県) レイモンドBK 尼崎 (和歌山県) レイモンドマーケット 【グループホーム】 (和歌山県) レイモンドハウス I 【子育て支援センター】 (和歌山県) レイモンド 子育て支援センター 【病児保育】 (滋賀県) レイモンド みらい園 (病児保育) 【児童館・コミュニティセンター】 (愛知県) 豊山町立総合福祉センター北館 さざんか 【ソーシャルインクルージョンヴェレッジ】 (奈良県) レイモンド学園 奈良校 (通信制高校) レイモンドマネジメント (就労継続支援) レイモンドカレッジ (生活訓練・就労移行支援) 奈良おもちゃ美術館 (2025年3月20日開館)
---	--	---

(2025年1月時点)

事業沿革	2007年2月	社会福祉法人檸檬会を設立（和歌山県）
	2007年4月	認可保育事業に移行（和歌山県）
	2014年11月	学童保育事業の開始（滋賀県）
	2015年11月	就労支援事業の開始（大阪市）
	2016年4月	小規模保育事業の開始（滋賀県）
	2017年1月	企業主導型保育園の開始（大阪府）
	2022年5月	児童発達支援事業の開始（滋賀県） 就労継続支援事業（A型）の開始（大阪市）
	2022年7月	障がい者グループホーム事業の開始（和歌山県）
	2023年4月	保育士等キャリアアップ研修事業の開始 レイモンド学園奈良校の開校（奈良県） レイモンドカレッジの開校（奈良県） ソーシャルインクルージョンヴィレッジの開村（奈良県）

■ 社会福祉法人檸檬会のグループ企業

一般社団法人ソーシャルインクルージョンパートナーズが中心企業となり、SIPsグループを形成しており、グループ内で「誰もが人生を楽しみ、躍動する機会が得られる社会づくり（ソーシャルインクルージョン）」に関する事業を行っている。年齢、国籍、人種、障がいの有無に関わらず、全ての人が対象となる、保育、学童、学校、障がい福祉サービス、外国人支援、食など、8つの事業領域で構成している。主なグループ企業名と事業内容は以下の通りである。

	ソーシャルインクルージョンパートナーズ	ソーシャルインクルージョンの実現に向けて、様々な事業を企画しており、グループの中心である
	ハウディ	国内外の語学学校や人材派遣業などを展開している
	ハウディレモン	フィリピンのセブ島で言語教育、メディア、飲食、不動産などの領域において、日本とフィリピンの両国に貢献する事業を展開している
	農業福祉研究機構	福祉施設などへの給食食材の発注管理システム提供している
	キッズプラス	保育園向けICTシステム「kids plus」の開発・販売を行っている
	Global Village (Thailand)	タイのランタ島にてInternational School of Asia, Koh Lantaを運営している
	SIPS VIETNAM	ベトナムにて、障がいの有無に関わらず働くことのできる、スイーツなどの製造販売を行うFC事業を運営している

■ 事業理念等

【Vision】

カラフルな が、凹凸 ある世界で躍動する、 ソーシャルインクルージョンの実現

檸檬会では、年齢や国籍、人種、性別、障がいの有無といった多様な価値観や個性の違いによって、人生を楽しむ機会が得られないような社会の歪みに対して、誰もが躍動できる場所づくりを進め、「ソーシャルインクルージョン（※）の実現」を目指すことを事業理念としている。

さらに、社会課題を自分事として捉え、その解決のための行動が取れる、持続可能な社会の創り手を育んでいる。

※ 社会的包摂と訳され、社会的に全ての人を包み込み、誰も排除されことなく全員が社会に参画する機会を持つことを意味する。ソーシャルインクルージョンによって、高齢者や障がい者、外国人や失業者など、社会的に弱いすべての立場の人が社会の一員として包み支え合うことが目指す。この考えは、SDGsの「誰一人取り残さない」という理念と非常に親和性が高い。

【Values】



共にいきる

光り輝く太陽のように。希望に満ちて包みこみ、共に前進する。

社会的包摂を表すソーシャル・インクルージョン。誰かを排除したり、差別しようとするのではなく、受容し、可能性を拓き、同じ方向を見て歩もうとすることを大切にしたい。利用者だけでなく、関係に対してもそうした姿勢を大切にしたい。また、事業や仕事を進めるうえでも、自分だけでやろうとするのではなく、さまざまな人や組織と手を携えながら進めていくあり方を大切にしたい。



誠実に向き合う

澄み切った空のように。曇りのない想いで、偽りのない行動をとる。

教育や福祉に携わる者としては、やはり誠実さは欠かせない。誠実さのない教育者も福祉従事者も信用が置けない。事業も個々の行動も、相手に誠実に向き合っているか、誰にでも胸を張って話せる事業や仕事であるかを大切にしたい。



自ら躍動する

燃える炎のように。楽しさを忘れず、前向きに躍動する。

事業の特性上、利用者自身が主体者となるように支援する立場であることが多い。しかしそれは、自分たち自身が主体者になれるということではない。私たち自身が、事業や仕事に対し、やりがいと楽しさを持って主体的に動き回ることが大切にしたい。



可能性を育てる

新緑の森のように。個と事業の可能性を、いきいきと育てる。

教育や福祉はまさに人の可能性を拓く仕事。可能性があることを信じ、それを見つめ、育てていくことを大切にしたい。それは利用者はもちろん、関係との関わり方においても大切にしたい。また、ソーシャル・インクルージョン・パートナーズはこれからも多様な新規事業を立ち上げていくが、立ち上げ後も事業の可能性を丁寧に育てていきたい。

出所）同会提供資料

檸檬会では、「Vision（事業理念）」と「Values（行動指針）」の浸透に向けて、プロジェクトチームを発足し、様々な施策の企画・立案を行っている。また、各事業所より1名ずつアンバサダーを募集し、アンバサダーへのワークショップ型の勉強会を実施している。各事業所のアンバサダーが中心となり、各事業所で勉強会を実施することで、法人全体への浸透を図っている。

■ 事業内容

檸檬会は、和歌山県紀の川市に本部を置き、和歌山県・滋賀県・奈良県・大阪府・京都府・兵庫県・愛知県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・沖縄県において、保育事業・児童福祉事業・障がい者福祉事業を展開している。

具体的には、認可保育園、認定こども園、児童発達支援事業所、就労移行支援事業所、就労継続支援事業所、グループホームなど多岐にわたる福祉サービスを提供しており、特に地域における子育て支援と障がい者支援に注力している。また、各事業が法人内で連携することで、多様な価値観や個性を持った人の誰もが活躍できる機会を創出している。

2023年4月には、奈良県生駒郡三郷町において、障がい者を含むすべての人が共に学び、働き、交流できる場を提供する複合福祉施設である「ソーシャルインクルージョンヴィレッジ」を開村した。このヴィレッジでは行政や地域企業と連携し、地域共生社会の実現に向けた取組を進めている。

【保育事業】

檸檬会は、認可保育園「レイモンドほいくえん」や認定こども園「レイモンドこどもえん」、小規模保育園「れもんのこほいくえん」、企業主導型保育園「Kid's&More」など、全国11都府県において保育施設を展開している。また、学童保育や病児保育、和歌山県紀の川市の子育て支援センターの運営も行っている。

「なんだろうのその先へ」を合言葉に、子どもにとっても大人にとっても主体的で対話的、深い学びのある環境の実現を目指している。

認可保育園・認定こども園	小規模保育園	企業主導型保育園
 社会福祉法人 檸檬会 レイモンドほいくえん LEIMOND NURSERY SCHOOL	 れもんのこほいくえん LEIMON NO KO NURSERY SCHOOL 0～2歳までの乳児だけをお預かりする家庭的な小規模保育園。愛情いっぱいの安心できる環境で、子ども一人ひとりの育ちに寄り添います。	 3～5歳が対象の英語環境の企業主導型保育園。子どもたちはネイティブの英語講師と遊びながら、自然と英語を身につけられます。
 社会福祉法人 檸檬会 レイモンドこどもえん LEIMOND CENTERS FOR ECEC 「なんだろうのその先へ」 不思議だな、なんだろう、やってみよう。 大人に教わるのではなく、遊びを通して自ら学ぶ。私たちは子どもたちの興味・関心を拾いあげ、主体的で対話的、そして深い学びのある活動へと導いていきます。	 社会福祉法人 檸檬会 レイモンドがくどうクラブ LEIMOND ELEMENTARY CHILDCARE CENTER Kid's&More 小学生の放課後や長期休暇を見守る放課後児童クラブ。施設によって英語教室やヨガ教室などのプログラムもご用意しています。	

出所) 同会ホームページ

<檸檬会の保育観について>

檸檬会では、保育施設の運営において最も大切にしている基本的な考え方（保育観）として、「れもんのころ」を掲げている。この「れもんのころ」を従業員一人ひとり、そして檸檬会に関わる全ての人と共有していきたいと考えている。檸檬会の保育観については以下の通りである。



出所) 同会ホームページ

・子どもとは…

子どもは生まれながらに素晴らしい力と可能性を持っていて、豊かに遊ぶことで、自分の世界を広げていきますが、大人の関わりによってその力はさらに引き出されます。乳幼児期にのびのびと遊び、環境に力強く関わることで生きる力に結び付きます。

出所) 同会ホームページ



・学びとは…

乳幼児期の学びとは、環境を通じた遊びや生活、人とのかかわりの中で、具体的な体験を通して生きる力を身に付けていくことです。子どもの「やりたい」という思いや「何だろう？」という気づきから生まれる遊び、友だちや他者と関わり（協同的な遊び）が、遊びの広がりや深まりにつながります。

できる・できないで判断せず、目の前の子どもがやろうとしている姿の中に学びがあります。

・遊びとは…

人間は、遊びによってさまざまな力を身に付け、成長していきます。子どもは、感動と好奇心に突き動かされ遊ぶ中で、世界を知り、人との関わりを学んでいきます。そのため、子どもが興味・関心を持ち、遊びが発展していくことが大切（つながる遊び・保育）です。保育者の一方的な願いで保育が進められるのではなく、子どもが遊びや物事とどう出会い、育んでいくか、その過程が大切です。



出所) 同会ホームページ

・表現とは…

表現とは、子どもがものごとに出会い、想像力を持ってそれと対話する中で、言葉や色・形・行動となって現れる過程すべてを指します。その過程で、子どもたちは自分の中にある自由に創造的な表現と出会い、それが更なる探究心となって、新たな発想と表現を生み出します。それは、子どもにとって大きな喜びであると同時に上質な「学び」であり、生きる力を育てることに繋がります。

＜檸檬会の保育理念について＞

檸檬会では、『全ての子どもに対し、短期的な結果を求めるのではなく、生涯消える事の無い“生きる力”である「3つの心」を育てたい』という保育理念を掲げている。この「3つの心」を可視化したものが、左記の檸檬会のシンボルマークとなっている。

以下が檸檬会の保育理念である。

出所) 同会ホームページ



01

「人・命を愛する心」

人は自らが愛され大切にされていると感じる事で、この世界に自分の居場所を見つける事ができます。それにより他者への優しさと思いやり、そして何事にも挑戦していく強さを持つことができます。私たちは、深い愛情をもって保育を行い、人・命を慈しむ心、思いやりの心を育てていきたいと思っています。

02

「自然と共に生きる心」

身近にある事物との関わりから子どもの興味・関心は刺激され、世界の広がり・深まりが生まれます。そして豊かな自然環境は、二つとない景色を毎日のように子どもたちへ届けてくれます。私たちが用意できる環境、そしてこの地球から授かる環境。その両面を通じて、しなやかに対応できる、自然とともに生きる心を育てたいと思っています。

03

「想像（創造）する心」

私たちは子どもの心を想像し、興味・関心の的を見つけ、子どもの「探求し表現する力」を伸ばします。子どもは自由な発想で想像し、自由な方法で表現します。想像し創造する心は、まさに未来を切り拓く力。私たちは「なんだろう」のその先へ導き、そうした心を育てていきたいと思っています。

また、檸檬会では、檸檬会の保育理念に基づく具体的な行動指針である「3つの保育方針」と「13の保育内容」を基に保育を行っている。

・ 3つの保育方針

子ども一人ひとりの育ちに寄り添い
それぞれの生きる力を育む

さまざまな体験を通して
しなやかな身体と豊かな感性を育む

人との「つながり」
社会との「つながり」を育む

出所) 同会ホームページ

・ 13の保育内容

01 乳児の育児担当保育

特定の保育者が一人または少人数の子どもとの愛着関係を基盤とした応答的な関わりの中で、情緒の安定と発達を促す保育を進める。

02 大人がさりげなく手を差し伸べる保育

子どもたちの想像性が高まるよう、目に見えない子どもの世界を広げる保育と、また、それができる環境をさりげなく構成する。

03 基本的生活習慣と生活経験

さまざまな生活経験を積んだり、基本的生活習慣を身につけることで、生きる力を養う。

04 子どもの主体性を大切にしたいコーナー保育

一斉ではなく子どもが主体的に生活を進められる環境づくりや活動を行う。

05 豊かな自然体験、動植物との関わり

自然に関する原体験を通して、自然・命の不思議さや偉大さを感じ、また、自然への興味・関心を深め関わることで、自然と共生する心を養う。

06 多様な運動遊び

丈夫で健やかな体づくりができるよう、さまざまな体の動きを経験し、多様な遊びを行う。

07 心揺さぶられる原体験と表現活動

表現活動は、深い感動や体験をもとに、自分自身や仲間とのじっくりとした関わりを経て、多様な表現方法で行われる。

08 美しい保育空間づくり

幼少期の生活環境は、原風景として子どもの記憶に擦り込まれ、大人になってからの行動にも大きな影響を与えます。子どもを幼稚な存在と決めつけ「かわいく」飾り立てるのではなく、美的センスや色彩感覚を養う基礎的な時期として、「美しさ」と「学び」という基準で室内空間を見直します。

09 文化・伝統の継承

地域の文化や国の文化に触れ、自らのアイデンティティを獲得できる環境を用意する。

10 子ども発のつながる保育

子どもの興味・関心からつながる活動の中で、お互いの意見を深めあいながら好奇心や関係性を高める協同的な活動

11 多様なコミュニケーション

幅広い感性と他者理解の心を育むために、異なる世代や異なる文化を感じられる様々なコミュニケーションを進める。

12 社会へつながる遊びの発展

遊びや生活が、自然や文字・数、社会への興味につながり、探究していくことで自然や社会とのつながりを理解する保育を進める。

13 あいさつ、礼儀作法、利他の心

自分からあいさつできる力、礼儀作法、他者を思いやって行動できる利他の心を育む。

出所) 同会ホームページ

<檸檬会独自の取組について>

檸檬会では、保育の質の向上と理念の浸透を目指し、以下のような独自の取組も行っている。

・SDGsへの取組

SDGsを実現するには幼少期の教育が重要であると考えており、SDGsの目標のひとつである「質の高い教育をみんなに」をテーマに取り組んでいる。また、法人内プロジェクトも立ち上げ、オンラインセミナーなども定期的開催している。

出所) 同会ホームページ



・茶道

子どもたちが日本の美意識や価値観と出会い、楽しみながら「所作」や「思いやりの心」を学ぶ場として茶道の時間を設けている。また、茶道を通して保護者や地域との交流も図っている。

出所) 同会ホームページ



・CCDプロジェクト

子どもたちが多様で豊かな体験と出会えるよう、法人内に保育以外の専門性（アート、デザイン、身体表現等）を持った職員が在籍し、保育現場のサポートや職員研修を行なっている。

※CCD … Child Communication Design の頭文字から取ったもの

出所) 同会ホームページ



・ART & DESIGN

保育における環境の重要性を強く意識し、質の高い建築環境を用意している。また、日常の中にもアートが自然な形で取り入れられ、「モノ言わぬ保育」として子ども達の感性を刺激している。

出所) 同会ホームページ



・『食』へのこだわり

和食中心のメニューで素材にこだわった食事を提供している。出汁の食べ比べや、土作りからの野菜栽培など食育活動にも注力している。

出所) 同会ホームページ



・プログラミングおもちゃ

幼児を対象にプログラミング的思考に繋がるブロックやパズルなどの電気を使用しないアンプラグドの玩具を用意している。「やってみたい→挑戦する→うまくいかない→考える→できた」という実際の体験を通して、問題解決する力を身につける環境づくりを構築している。

出所) 同会ホームページ



・ICTの導入

登降園の打刻や検温は非接触型で、連絡はアプリでもできるなど、保護者にとって利便性の高いシステムを導入している。

出所) 同会ホームページ



・大学研究協力

幼児教育の更なる発展に寄与するために、保育士養成校などからの研究協力依頼を積極的に受け入れている。これにより、研究結果が各施設にフィードバックされ、「保育の質」向上にも繋がっている。

出所) 同会ホームページ



・海外事業

グローバルに事業を展開し、海外の子どもたちにも丁寧な日本式の乳児保育を届けられるよう、国外の乳幼児期教育にも携わっている。



出所) 同会ホームページ

【児童福祉事業】

＜児童発達支援事業＞

檸檬会は、児童発達支援事業所の運営も行っている。児童発達支援事業所とは、発達に心配がある未就学児に対して、自立生活に向けた療育訓練を行う施設である。

児童発達支援事業所「レモネードキッズ」は、子ども一人ひとりの興味・関心に寄り添い、檸檬会のノウハウを活かした通所型の児童発達支援事業所で、1歳半～6歳の未就学児を対象としており、児童発達支援管理責任者、臨床発達心理士、言語聴覚士、保育士、理学療法士などが連携しながら、オーダーメイドの療育プログラムを作成している。療育プログラム作成においては、保護者の了解を得た上で通園先との連携も行っている（檸檬会の園以外も対象）。また、子育てに課題を抱えている保護者へのサポートも行うことで、子どもの健やかな育ちを総合的に支援している。

療育プログラムは、1回あたり45分で構成されており、週に1回から利用できる。子どもの発達に合わせた教材や玩具遊びなどを通して、言葉の理解や手指の操作、コミュニケーションなど、子どもが生活に必要な能力を身に付けられるように支援している。また、療育プログラムは、保育園や幼稚園、家庭の中でも簡単に取り入れることができる内容を心掛けている。具体的な療育プログラムの例は以下の通りである。



出所) 同会ホームページ

・療育プログラム（例）

個別療育 30分

お子さんの発達に合わせた教材やおもちゃを使い、療育スタッフと1:1で課題に取り組みます。療育スタッフの対応を見て、保護者の方もお子さんへの関わり方を学ぶことができます。



- 言葉を理解する力を育む
- 人と楽しく関わり、相手と向き合う力を育てる
- 手指の操作や全身運動、ルールのある遊びを通してバランス良く発達をサポート

設定あそび 15分

遊びを通してお友だちと関わったり、担当以外の療育スタッフとも遊んだりしながら、コミュニケーションに必要な力を育みます。楽しく体を動かすこともあります。この時間に、保護者の方にはフィードバックを行います。



出所) 同会ホームページ

現在では、児童発達支援事業所「レモネードキッズ」は、滋賀県草津市と滋賀県近江八幡市において2拠点で展開しているが、今後は大阪府や埼玉県にも展開していく予定であり、発達に心配がある児童への療育に注力していく方針である。

【障がい者福祉事業】

<就労移行支援事業>

檸檬会では、就労移行支援事業所「LIIMO」を運営しており、一般企業への就職を希望する障がい者を対象に、働くために必要な知識や能力向上に向けた訓練の実施、適正に合った就労先や企業における実習など就職活動全般のサポートを行っている。



出所) LIIMOホームページ

具体的には、履歴書作成や面接練習など就職活動のサポート、生活リズムの安定やパソコンのスキルアップ、資格取得支援、コミュニケーション力の向上など、働くために必要なスキルの習得などをサポートしている。また、就労移行支援事業所「LIIMO」は、一般社団法人社会福祉支援研究機構に加盟しており、全国86の事業所と連携している。

就労支援プログラムの作成にあたっては、利用者一人ひとりとじっくり面談することで、自身の強みや将来やりたいこと、希望する仕事などを明確にし、その分野で活躍できるスキルや準備に必要なプログラムを個別にオーダーメイドで作成している。作成された支援プログラムにおいて、楽しみながら資格取得も目指すことができる。コミュニケーション資格からPCスキルまで70以上のラインナップが用意されている。

また、就職後6ヶ月経過した人を対象に、就労の継続を図るため、雇用企業や関係機関等との連絡調整を行い、職場での課題や就労に伴い生じる生活上の問題などの相談や助言等の支援を行う就労定着支援事業も行っている。

・就労プログラムメニュー例

SST (ソーシャル・スキル・トレーニング)  職場環境における様々な場面を想定し、対人関係技能の改善を目的としています。	ビジネスプログラム  ビジネスシーンにおけるマナーや、ビジネスに必要な会話スキルを習得し、就職後のビジネス環境に適応するための準備を行います。
就労プログラム  ハローワークの求人検索方法や求人票の見方、面接の対策や履歴書の書き方等、就職に向けての対策を行います。	健康プログラム  ウォーキングやストレッチ体操、ヨガ教室など、就職に向けての体力づくりやストレス発散を目的として行います。
コミュニケーションプログラム  コミュニケーション能力向上を目的としたグループワークや、脳の活性化を目的としたゲームや一般常識などを行います。	

出所) LIIMOホームページ

・資格取得一覧例

コミュニケーション - コミュニケーションリーダー - ピアカウンセラー - コミュニケーション基礎 - T E C C (中国語コミュニケーション検定) - ナラティブメディアエーター講座 ※	IT - ITパスポート - JavaBronze SE 7/8 (試験対策) - JavaSilver SE8 (試験対策) - JavaSilver (試験対策/一問一答) (基礎・入門) 学習 - 現役デザイナーのphotoshop - 現役デザイナーのillustrator - VBA基礎 (操作編) - プログラミング基礎 (Java) - プログラミング基礎 (VB.NET) - SQL基礎 - HTML5基礎 - JavaScript基礎 - CSS基礎 - Webアプリケーション開発 (Java) - Git入門 - Ruby基礎 - C言語基礎 - PHP基礎 - Webアプリケーション開発 (PHP) - Python入門 - AWS入門 - Linuxシステム管理 - Linuxネットワークとサービス - 情報セキュリティ入門 - ネットワーク基礎 - AWS CodeCommit入門 (応用) 学習 - AWS応用 (javaのデプロイ) - ネットワーク応用	簿記 - 短期集中TOEIC 900点 - 短期集中TOEIC 700点 - 短期集中TOEIC 500点 - 中国語コミュニケーション (一般試験対策講座) 不動産・建築 - 太陽光発電アドバイザー - 数金診断士 - シックハウス診断士 - 住宅販売士補 - 住宅ローン診断士補 - 住宅環境コーディネーター - サブリース建物取扱主任者 - 太陽光発電メンテナンス技士補 - カビ・測定技能士 - 民泊適正管理主任者 - 販売不動産取扱主任者 - 子育て環境アドバイザー - 宅地建物取引士 その他資格 - 小売電気アドバイザー - 移動販売コーディネーター - 危険物取扱者乙種4類 - 緊急時避難誘導員 - パーソナルカリリスト検定3級 - パーソナルカリリスト検定2級
医療・福祉 - 環境アレルギアドバイザー - 日本幼児食協会認定ベシックスクラス - 金属アレルギーマイスター - 医療事務講座 (医療事務認定実務者) - 保育士 - 社会福祉士 - 精神保健福祉士 - 登録販売者 - メンタルヘルス基礎	ビジネス基礎スキル - ビジネス法務基礎 - ビジネスプレゼンテーション基礎 - パーソナルカリリスト検定2級 - パーソナルカリリスト検定3級 - ビジネス実務マナー3級 - 秘書検定1級 - 秘書検定準1級 - 秘書検定2級 - 秘書検定3級 - 色彩検定3級 - ビジネスファシリテーション検定基礎 - SPI (試験対策) - ビジネス会計基礎 - 給与計算検定3級	高卒認定試験 - 国語 - 世界史 - 日本史 - 現代社会 - 新数学 - 科学と人間生活 - 化学基礎 - 英語 - 生物基礎
ビジネス実務 - お客様対応相談員 (CAP) - QC検定 (品質管理検定) - マイナンバー管理アドバイザー ※ - 外国人雇用管理主任者 - 障がい者雇用推進者研修	会計・税務 - ビジネス会計基礎 - 給与計算検定3級 - F P 技能士3級 - 日商簿記検定3級	PCスキル - P 検 (I C T プロフィシエンシー検定協会) - MOS Excel (対策講座) - MOS Word (対策講座) (入門) 学習 - Excel入門 - Word入門 - MOS (PowerPoint)

<取り扱いラインアップの例>
●試験免除プログラム対象資格 ●事業所内受験対象資格 ※今後ラインナップ追加予定

出所) LIIMOホームページ

<就労継続支援事業>

障がい者の就労には様々な課題があるが、その一つに賃金の低さが挙げられる。檸檬会では、その課題を解決するべく、障がい者が企業と雇用契約を締結することで、最低賃金以上の収入が得られる就労継続支援A型事業を行っている。

檸檬会の就労継続支援では、就労継続支援A型事業所として、バーガーキングのFC事業である「レイモンドBK」と、さかい珈琲のFC事業である「レイモンドマーケット」を運営している。就労者の働きやすさに重点を置き、安定した運営や業務の習得がしやすい環境を整備している。

バーガーキング

事業所一覧 LEIMOND BK

バーガーキング大阪ベイタワー店
大阪府大阪市港区弁天 1-2-2 ベイタワーウエスト 2F
営業時間：10：00～21：00（年中無休 ※元旦除く）
バーガーキング阪神尼崎店
兵庫県尼崎市御園町 54 カーム尼崎 1F



さかい珈琲



LEIMOND Market

さかい珈琲 紀の川店
住所：和歌山県紀の川市東国分 475
Tel：0736-79-3715
営業時間 7：00～20：00（年中無休 ※元旦除く）

出所）同会提供資料

<グループホーム事業>

檸檬会は、障がい者がサポートを受けながら一緒に生活するグループホーム「レイモンドハウスⅠ（ワン）」を運営している。「レイモンドハウスⅠ」では、部屋には家電や家具が一通り揃い、入居後すぐに生活を始められる環境を整備している。また、毎日、栄養バランスを考慮した手作りの食事も提供するなど、入居者一人ひとりへの手厚いサポートも行っている。

2024年6月には2棟目が竣工した。背景には自立を目指す障がい者の需要が高まり、入居希望者が増加したことが挙げられる。檸檬会では、これらのニーズに応えるべく、1棟目に続き、2棟目においても変わらない支援体制を継続している。

また、空き部屋がある場合には、ショートステイでの利用も可能となり、障がいのある方だけではなく、家族に対するサポートにも取り組んでいる。



出所）貴会ホームページ

・施設概要

定員	【1棟目】 1階：5名／2階：5名（階段昇降に問題ない方） 【2棟目】 1階：4名／2階：6名（階段昇降に問題ない方）
設備	【1棟目】 バリアフリー／オストメイト対応トイレ
階数	木造2階建て
駐車場	来客用駐車場あり
家具	居室（ベッド／布団／布団カバー／テレビ／テレビ台／テーブル／エアコン／カーテン／窓枠物干し／クローゼット完備）
築年数	【1棟目】 2021年11月竣工 【2棟目】 2024年6月竣工



出所）レイモンドハウスホームページ

【ソーシャルインクルージョンヴィレッジ事業】

ソーシャルインクルージョンヴィレッジとは、奈良県生駒郡三郷町にある学校法人奈良学園の跡地の一部を活用した「FSS35（サンゴー）キャンパス（※）」内にある、ソーシャルインクルージョンを実現する新しいコンセプトの「教育と福祉の総合コミュニティ」である。

東京ドーム3個分（130,000㎡）もの広大な大学跡地において、檸檬会を含むSIPsグループが4つの建物を拠点に事業を運営している。



出所）同会ホームページ

檸檬会では、ソーシャルインクルージョンヴィレッジを「障がい者や外国人、高齢者など多様な人材が活躍できる場を提供することで、多様な人材を活用したい企業との架け橋」にしたいと考えている。

※ 奈良県生駒郡三郷町にある大学跡地の利活用プロジェクトにおいて、三郷町・檸檬会・奈良学園が一体となり、大学跡地を「未来技術」「SDGs」「共生社会」を3つの柱に「生涯活躍のまち」の実現に向けた核となるエリア。「FSS」は、「未来技術（Future Technology）」「SDGs」「共生社会（Symbiotic Society）」の頭文字で、「35（サンゴー）」は三郷町を指す。

未来技術 **F**uture Technology
SDGs **S**ustainable Development Goals
共生社会 **S**ymbiotic Society

出所）ゼロカーボンで加速する全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」三郷

ソーシャルインクルージョンヴィレッジ事業のビジョンは以下の通りである。

VISION



ソーシャルインクルージョンパートナーズが掲げるグループビジョンを体現する場所が、ソーシャルインクルージョンヴィレッジです。

理想として掲げるのは、障がい者も健常者も、性別や世代、国籍などに関係なく、自分らしく生きる権利が守られ、誰もが受容される社会です。

社会に内在する問題によって生きづらさを抱える人たちが、どうすればもっと生きやすい社会になるだろう。その課題解決のための取り組みを、檸檬会のヴィレッジ事業部が中心となって事業化していきます。

そしてこの社会的包摂を持続するために行う、もうひとつの大切なアクション。それは子どもたちに伝えることです。包摂性が社会に根付くまでには時間を要します。だからこそ、これからの社会を担っていく若い世代にこの思いをつないでいきたい。

インクルーシブな社会の実現のために、ボーダーレスなコミュニティを創造していきます。

社会福祉法人檸檬会 理事長 前田 効多郎

出所）同会提供資料

ソーシャルインクルージョンヴィレッジでは、檸檬会を含むSIPsグループが「FSS35（サンゴ）キャンパス」の2号館・5号館・6号館・7号館において、様々な事業を運営している。

出所）同会提供資料



<2号館（働く）>
1F：いんくるれすとらん
2F：和菓子製造工場
3F：レイモンドマネジメント

<5号館（学ぶ）>
1F：檸檬会奈良本部
レイモンドカレッジ
高齢者デイサービス事業所
認定こども園（予定）
2F：精華学園高等学校レイモンド学園奈良校
介護福祉士養成校（予定）
3F：檸檬会会議室、貸オフィス（予定）

<6号館（学ぶ）>
1～3F：ハウディ日本語学校奈良校

<7号館（遊ぶ）>
1F：MOKUMOKUカフェ & ショップ
イベントスペース
2F：奈良おもちゃ美術館

<2号館（働く）>

・レイモンドマネジメント（就労継続支援A・B型）

2023年4月に運営開始。奈良県内最大級の障がい者就労継続支援事業所であり、FSS35キャンパスの敷地全体の維持管理業務、清掃業務に加え、後述の「奈良おもちゃ美術館」や「いんくるれすとらん」の接客・販売・調理などの業務も請負っている。その他にも、事務アウトソーシング・オフィス受付・軽作業などの様々な業務があり、利用者は無理なく継続できる自分に合った仕事を見つけることができる。

・和菓子製造工場

施設外就労先として2025年3月に事業開始。菓子の箱詰め作業や製造作業などを、一般就労に近い環境で就業経験を積むことができる。

・いんくるれすとらん（就労継続支援A・B型 施設外就労先）

2025年3月に開店。ビュッフェ形式のレストランを運営。

出所）同会提供資料

LEIMOND
Management

出所）同会提供資料



<5号館（学ぶ）>

- ・レイモンドカレッジ（就労移行支援＋自立訓練）

2023年4月に開校。18歳以上の一般就労を目指す障がい者を対象に、就労移行支援と自立訓練（生活訓練）を一体的に行う複合型（多機能型）事業所であり、4年制の福祉型カレッジがコンセプト。

就労未経験者が将来の仕事観を考えていくフレッシュャーズコースと、就労経験者向けに専門性のあるスキルを習得するキャリアコースに分かれている。



出所）貴会会社案内

- ・精華学園高等学校レイモンド学園奈良校

2023年4月に開校。「自らの学びを自由にデザインする」をコンセプトにした広域通信制高校である。精華学園高等学校レイモンド学園奈良校は、学校教育法第一条に定められた高等学校であり、全日制と同じ「高校卒業資格」を取得することができる。

3種類の通学スタイル（Webサポートスタイル・週1日通学スタイル・週5日フレキシブル通学スタイル）や、3種類の選択型クリエイティブコース（eスポーツコース・動画クリエイターコース・サイバーセキュリティコース）など、生徒のライフスタイルや多様性に合った通学・学習スタイルを可能としている。また、自然・人間・社会との関わりにおける新たな気づきを目指し、「見て・聞いて・触れるプロジェクト」により体験を重視した授業やイベントを実施している。加えて、学習環境をより充実させ、学生一人ひとりが安心して学びを進めるために、臨床心理士（公認心理師）によるメンタルサポートを提供している。本人だけでなく家族との相談支援も行うなど、メンタルサポートや心理支援の充実を図っている。



出所）精華学園高等学校レイモンド学園奈良校ホームページ

- ・ソーシャルインクルージョン・アカデミー

2026年4月開校予定。外国人留学生と学ぶインクルージョンな介護福祉士専門学校となる。

- ・その他、認定こども園、高齢者デイサービス事業所、障がい者活用を検討している企業向け貸オフィスなどを運営する予定である。

<6号館（学ぶ）>

- ・ハウディ日本語学校奈良校

2023年10月に、多文化共生社会の新たな日本語教育機関として法務省告示のもと開校した。約100名の外国籍の学生が在籍しており、外国人留学生に「学び」を提供し、日本社会参画をサポートしている。学生だけでなく教職員も主体的に学び、成長していく日本語学校を目指している。

2年間の日本語学校を卒業後、一部の生徒は「ソーシャルインクルージョン・アカデミー（介護福祉士専門学校）」に進学予定である。



出所）ハウディ日本語学校奈良校ホームページ

<7号館（遊ぶ）>

・奈良おもちゃ美術館

おもちゃ美術館とは、NPO法人芸術と遊び創造協会（※）が設立した多世代間交流の遊戯施設である。全国各地からの要望により設立計画が進められ、公民問わず様々な組織が設立・運営を行っている。おもちゃ美術館のコンセプトは右記の通りである。

出所）全国のおもちゃ美術館ホームページ

おもちゃ美術館のコンセプト



※「遊びが育てる世代間交流」を理念とし、木育活動やおもちゃの専門家養成や、おもちゃの賞制度である「GOOD TOY AWARD」選定、病児の遊び支援などの活動を行っている。

檸檬会が運営する「奈良おもちゃ美術館」は2025年3月20日に開館した。全国で13館目のおもちゃ美術館となり、関西で初の開館となる。また、社会福祉法人がおもちゃ美術館の運営に携わるのも全国初でもある。

「奈良おもちゃ美術館」については、赤ちゃんからお年寄りまで多世代が一緒に遊び、学べる「木育」がテーマの体験型施設である。2フロアで構成され、館内には吉野杉がふんだんに使用されている。約300種類・約5,000点の国内外の木のおもちゃで遊ぶことに加え、様々な遊びの空間を「通り」で分け、奈良の町並みや文化を表現した「おもちゃの平城京」、吉野の千本桜をモチーフにした木のおもちゃ、大和野菜の収穫あそび、木のたまご約2万個を使って大和川をイメージしたボールプールなど、「奈良おもちゃ美術館」でしか遊ぶことができない木のおもちゃが用意されており、奈良県の文化的特徴・歴史的な魅力を楽しめる場所となっている。

出所）奈良おもちゃ美術館ホームページ



無料で入場できる1階部分では、ライブラリーカフェを併設しており、児童書から福祉に関する専門書まで1,000冊以上の書籍を自由に読むことができる。また、地元奈良のコーヒーブランドである「ロクメイコーヒー」が監修した軽飲食を販売し、地域で子育てをしている方などが気軽に集まれるような憩いの場を提供する。

出所）奈良おもちゃ美術館ホームページ



「奈良おもちゃ美術館」は、おもちゃ学芸員としてシニア人材の活躍機会の提供に加えて、保育事業と障がい福祉事業に取り組んでいる檸檬会の知見やノウハウを活かして、おもちゃ美術館としては全国初となる「年齢・国籍・人種・障がいの有無に関係なく誰もが働けるインクルージョンなおもちゃ美術館」となっている。

出所）奈良おもちゃ美術館ホームページ



・MOKUMOKUカフェ&ショップ（就労継続支援A・B型施設外就労先）

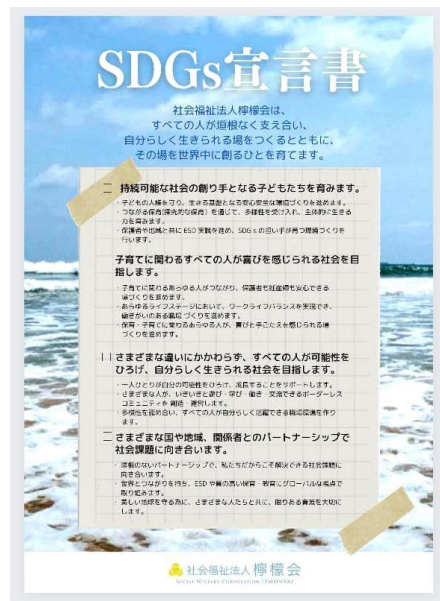
2025年3月オープン。おもちゃ美術館に併設されたライブラリーカフェを運営。おみやげやオリジナルグッズ、木育おもちゃなどを販売している。

■ サステナビリティ基本方針

檸檬会では、「持続可能な社会づくりは現在の大人だけで実現できるものではなく、未来へ伝え続ける好循環のバトンを繋いでいく必要がある」という思いから、「SDGs宣言」を行っている。子どもたちが受ける保育・教育はSDGsの実現に向けて重要であることから、「SDGs宣言」に基づき、職員一人ひとりが「自分ごと化」して考え、施設ごとに具体的なアクションを実行している。

<SDGs宣言文>

- ・ 持続可能な社会の創り手となる子どもたちを育みます。
- ・ 子育てに関わるすべての人が喜びを感じられる社会を目指します。
- ・ さまざまな違いにかかわらず、すべての人が可能性をひろげ、自分らしく生きられる社会を目指します。
- ・ さまざまな国や地域、関係者とのパートナーシップで社会課題に向き合います。



出所) 同会提供資料

■ サステナビリティ活動

檸檬会については、環境面・社会面・ガバナンスの観点から、社外・社内において様々なサステナビリティ活動を行っている。

【環境面に向けた取組】

<第35回 緑の環境プラン大賞を受賞>

檸檬会は、公益財団法人都市緑化機構・一般財団法人第一生命財団が主催する「緑の環境プラン大賞 シンボル・ガーデン部門（※）」において、国土交通大臣賞を受賞した。ソーシャルインクルージョン ヴィレッジが地域のシンボルとなり、都市環境の保全・再生に貢献していく。

※ 緑豊かな都市環境の形成を図るとともに、生活の質向上やコミュニティ醸成等に役立つことを願い、1990年に創設。数多くの緑化のプランを助成・実現を支援している。シンボル・ガーデン部門では、緑の持つ環境保全機能（ヒートアイランド緩和効果・生物多様性保全効果等）を積極的に取り入れることにより、人と自然が共生する都市環境の形成やコミュニティの活性化に寄与するアイデアを盛り込んだ地域のシンボリックな緑地プランを表彰する。

部 門	作品名(場所)	受賞者名	概 要	
シンボル・ガーデン	カラフルな〇△□ (こせい)が見える 『インクルージョンな プレイガーデン』 (奈良県生駒郡 三郷町)	社会福祉法人 檸檬会	かつて多くの学生で地域の賑わいの中心でもあった大学跡地を利用して、多世代・多国籍の人々が集う新たな交流の場や、インクルーシブな遊び場となる緑の空間を創出するプラン。完成後には、交流促進のためのイベントを定期的に開催したり、維持管理を障がい者就労支援施設と連携して行うなど、誰にとっても居心地のよい社会の実現に寄与できる点等が高く評価された。	

出所) 公益財団法人都市緑化機構ホームページ

【社会面に向けた取組】

<ICTの活用>

檸檬会では、保育者の業務負担を軽減する「働き方改革」として、積極的なICT導入により、業務効率化や利便性向上を進めている。具体的には、グループ企業であるkids plusと園見学の予約自動化ツール「enスケジュール」を共同開発し、檸檬会が運営する保育施設で順次導入を開始している。

従来より保護者の入園前見学において、見学希望者と園側のスケジュール調整に時間を要するという課題があった。そこで、ウェブサイトに「enスケジュール」を導入することで、見学希望者は24時間いつでも簡単に見学の即時予約が可能となった。保護者が園との連絡に時間を割かずに済み、保護者支援という面で効果的なツールとなっている。また、可能な限りシンプルなUIにすることで、多忙な保育者でも直感的に扱えるツールを目指している。



出所) 貴会ホームページ

ICT導入により、保育者が子どもたちとの関わりに余裕を持つことができ、更なる保育の質向上に繋がっている。また、パソコンやスマホ操作が苦手な職員へ向けて、使い方のオンライン研修を開催したり、保育室に1台ずつあるiPhoneで閲覧できる電子マニュアルの整備も進めている。

<保育士養成校の授業に参加>

檸檬会では、同会で働く約1,000人の保育者が様々な保育士養成校の授業にオンラインで参加し、保育士を目指す学生の学びに貢献している。檸檬会に養成校の卒業生が在籍していない場合でも参加可能で、保育者を目指す学生に対して、身近な存在である「先輩」として、リアルな声を届けている。



出所) 同会ホームページ

<幼児向け体験型金融教育プログラム「社会体験版おみせやさんごっこ」を監修>

檸檬会は、「マネードクター」を運営する株式会社FPパートナーと、幼児向け体験型金融教育プログラム「社会体験版おみせやさんごっこ」を共同開発した。「社会体験版おみせやさんごっこ」は、年長クラスの幼児を対象としたお金について学ぶ体験型プログラムである。子どもたちは遊びの中で、「お金の成り立ち」や「お金を稼ぐこと・使うこと」などを楽しみながら体験することで、「お金の大切さ」や「働いてお金を稼ぐこと」を学び「保護者への感謝の気持ち」を育むことができる。金融教育については、2022年4月から高校で必修化されているが、檸檬会では、幼少期から金融教育の土台を養うためにも、今後も園での生活や遊びを通した「お金」を学ぶ環境を取り入れていく。



出所) 同会ホームページ

<保育におけるグローバル対応に向けた取組>

国籍や性別、障がいの有無に関係なく、「子ども一人一人に寄り添う丁寧な保育」を掲げる檸檬会では、日本語や日本文化に不慣れな子どもや保護者が感じている「困りごと」をサポートするために、法人全体の取組として「グローバル・アクション・プロジェクト」を立ち上げている。このプロジェクトでは、園での「困りごと」をピックアップし、取組や対応方法を共有・実践することで、ガイドラインを作成し各園へと展開している。

具体的には、日本語がわからない保護者が理解できるよう、配布書類や掲示物は簡単な文型や平仮名で記載し、英語併記にしている。また、英語が分からない保護者には母国語に翻訳したカードも用意していることに加え、読みやすさを考慮し、ユニバーサルデザイン書体への統一や、写真やイラストを多用するなどの工夫を行っている。さらに、様々な言語での挨拶やそれに代わる言葉を書いたカードを廊下に掲示している。

出所) 同会ホームページ



食生活についても、イスラム教やヒンドゥー教といった宗教によって食事制限がある場合は、可能な限り一人ひとりに応じたメニューを提供している。また、日本の食文化に触れられるよう、食事制限のある子どもでも食べられる食材を使用した和食や行事食も用意している。さらに、外国の郷土料理を給食メニューに取り入れることで、お互いの国や文化を自然と理解することにも繋がっている。

保育室には、二言語併記や多言語に訳された絵本を置いたり、様々な肌の色の人形を置くなど、園生活が子どもにとってストレスにならないように安心できる環境づくりに配慮している。

<東南アジアの子どもたちを笑顔にするSDGsプロジェクトに参加>

関東にある9つのレイモンド保育園において、株式会社BELTAが主催するまだ使える物の寄付を募るプロジェクト「スマイルドナー」の活動に取り組んでいる。各園の子どもたちや保護者の協力のもと、子ども用の洋服やおもちゃなどがたくさん集まり、東南アジアの子どもたちへ寄付を行った。



出所) 同会ホームページ

<SDGs活動でフィリピン・セブ島への物資支援を実施>

レイモンド南蒲田保育園では、年に2回程度、SDGsの活動として、NGO団体「国際協力NGO go share」を通じて、保護者協力のもと子ども服や日用品などを集め、フィリピン・セブ島への物資支援を行っている。

「物だけでなく心もいっしょに届けたい」という考えから、支援物資とともに持ち主であった子どもの写真を同封することで、現地の方々に「遠い国のだれかではなく、日本の〇〇ちゃん、〇〇くんからのプレゼント」と身近な存在として感じてもらい、現地の子どもたちと交流を続けている。



出所) 同会ホームページ

<SIPsグループであるハウディ日本語学校との連携>

檸檬会では、ハウディ日本語学校奈良校の学生に対し、様々な日本文化に触れることができる機会を提供している。具体的な取組としては、地域のこども園の園児や小学校の生徒と積極的に交流を行うことで、地域子どもたちが異文化に触れる機会を設けている。

また、ハウディ日本語学校奈良校において、ハウディ日本語学校奈良校の学生とSIPsグループが合同で夏祭りを開催している。総勢150名を超える地域の方々が参加し、民族衣装の着付け体験、民謡や踊りの発表など、様々な国の文化に触れる機会となっている。また、ハウディの学生は、ゼリー流し・水鉄砲・射的など日本のお祭りの文化も体験した。

出所) 同会提供資料



<檸檬会の従業員がハウディ日本語学校奈良校にて「体験就業」に参加>

檸檬会では、希望する従業員に対して、ハウディ日本語学校奈良校の「体験就業」を行っている。体験に参加した従業員は、保育施設・障がい福祉事業・本部などの部署や職種を超えて参加しており、日本語学校の授業や学生寮の見学、学生との交流を通じて、同じSIPsグループの他事業を理解し、「ソーシャルインクルージョン」を身近に考える機会となっている。

出所) 同会ホームページ



【ガバナンス強化に向けた取組】

<社内風土の醸成・従業員満足向上に向けた取組>

檸檬会では、定期的にコンプライアンス研修、ハラスメント研修を実施している。また、職員専用内部通報制度（れもんホットライン）の専用窓口や、ハラスメント相談受付ダイヤルを設置しており、コンプライアンス違反や不正行為の発生または発生を知った従業員が、機密性を保証しつつ、適切な窓口につながる仕組みを構築している。

<利用者満足向上に向けた取組>

檸檬会では、利用者満足向上に向け、カスタマーエクスペリエンス（以下CX）を重要視している。CXは「顧客体験価値」を意味し、檸檬会では「従業員が子どもや保護者と丁寧にに関わり、子どもの成長を共に喜び合う中で生まれる体験」であると考えている。保護者の満足だけでなく、子どもにとって「より良い学び」と「成長の場」の提供により、「選ばれる園」を目指している。

具体的な取組としては、各施設が実践している取組内容を発表し、表彰する「CXグランプリ」を毎年実施している。また、保育施設を対象に実施している保護者向けアンケートや外部機関による福祉サービス第三者評価の結果などを社内で共有し、サービス改善などに活用している。

出所) 同会提供資料



3. 包括的分析

PIF原則およびモデル・フレームワークに基づき、南都コンサルティング株式会社が所定のインパクト評価の手続きを実施した。

まず、UNEP FIの定めたインパクト評価ツールを用い、ポジティブ、ネガティブなインパクトエリア・トピックを判定したものが以下となる。

なお、檸檬会の業種は、国際標準産業分類に基づき、「8510：初等前教育および初等教育事業」「8810：宿泊施設のない高齢者・障害者向け社会事業」と特定した。

■ UNEP FIの定めたインパクト評価ツールにより確認したインパクト一覧

国際産業標準分類 (UNEP FIコード)		事業全体		初等前教育および初等教育事業		宿泊施設のない高齢者・ 障害者向け社会事業	
				8510		8810	
対象事業						保育事業	
インパクトエリア	インパクトトピック	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ
人格と人の安全保障	紛争						
	現代奴隷						
	児童労働						
	データプライバシー						
	自然災害						
健康および安全性	—						
資源とサービスの入手可能性、アクセス可能性、手ごさ、品質	水						
	食料						
	エネルギー						
	住居						
	健康と衛生						
	教育						
	移動手段						
	情報						
	コネクティビティ						
	文化と伝統						
ファイナンス							
生計	雇用						
	賃金						
	社会的保護						
平等と正義	ジェンダー平等						
	民族・人種平等						
	年齢差別						
	その他の社会的弱者						
強固な制度・平和・安定	法の支配						
	市民的自由						
健全な経済	セクターの多様性						
	零細・中小企業の繁栄						
インフラ	—						
経済収束	—						
気候の安定性	—						
生物多様性と生態系	水域						
	大気						
	土壌						
	生物種						
	生息地						
サーキュラリティ	資源強度						
	廃棄物						

■ 檸檬会の個別要因を加味したインパクトの特定

「健康および安全性」：保育事業においてネガティブインパクト、児童福祉および障がい者福祉事業においてポジティブインパクトとネガティブインパクトが抽出されている。檸檬会の事業において、顧客の健康へのアクセスに関する取組がないものの、従業員の安全・安心に配慮した取組があることから、ポジティブインパクトのみ削除する。

「健康と衛生」：児童福祉および障がい者福祉事業においてポジティブインパクトが抽出されているものの、檸檬会の事業において、ヘルスケア関連の提供がないことから、ポジティブインパクトを削除する。

「賃金」：全事業においてポジティブインパクトとネガティブインパクトが抽出されている。檸檬会では、賃金上乘せ等のポジティブに資する取組がないものの、檸檬会の賃金水準については、TKC経営指標（令和5年版）における全国同業種企業の一人当たり人件費を上回っており、低収入や不規則な収入といったネガティブインパクトには該当しないことから、両インパクトを削除する。

「社会的保護」：保育事業においてポジティブインパクト、全事業においてネガティブインパクトが抽出されている。檸檬会の事業において、社会的保護の重要な要素に繋がるようなポジティブに資する取組がないことから、ポジティブインパクトのみ削除する。

「ジェンダー平等」：保育事業においてポジティブインパクト、全事業においてネガティブインパクトが抽出されている。檸檬会の事業において、平等なアクセスに貢献し不平等・差別を軽減するようなポジティブに資する取組がないものの、男女間の不平等が深刻であったり、女性の権利が軽視されたりしているような取組がないことから、両インパクトを削除する。

「民族・人種平等」：保育事業においてポジティブインパクトとネガティブインパクトが抽出されている。檸檬会の事業において、平等なアクセスに貢献し不平等・差別を軽減するようなポジティブに資する取組がないことから、ポジティブインパクトのみ削除する。

「年齢差別」：奈良おもちゃ美術館において、おもちゃ学芸員としてシニア人材の就労機会を提供しているなど、ネガティブの低減に資する取組があることからネガティブインパクトを追加する。

「セクターの多様性」：保育事業においてポジティブインパクトとネガティブインパクトが抽出されている。檸檬会の事業において、保育事業で子どもの成長に寄与するような多様なプログラムが十分に提供されていることに加え、児童福祉および障がい者福祉事業で療育サービスの提供が適切に行われていること、障がい者就労に関するサポート体制が構築されていることにより、セクターの多様性のために強力な基盤を構築する取組がないものの、セクターの多様性が阻害されるような取組がないことから、両インパクトを削除する。

「経済収束」：保育事業においてポジティブインパクトが抽出されているが、檸檬会の事業において、収束と不平等の縮小に貢献できるようなポジティブに資する取組がないことから、ポジティブインパクトを削除する。

特定したインパクト一覧

インパクトエリア・トピック	ポジティブ	ネガティブ
健康および安全性		●
教育	●	
雇用	●	
社会的保護		●
民族・人種平等		●
年齢差別		●
その他の社会的弱者	●	●
気候の安定性		●
廃棄物		●

各インパクトエリア・トピックに対して、ポジティブインパクトの増大やネガティブインパクトの低減に貢献すべき活動内容を確認すると共に、SDGsのゴール及びターゲットへの対応関係についても併せて評価した。

■ インパクトに係る戦略的意図やコミットメント

インパクトとPIF原則及びモデル・フレームワークにより特定したインパクトの項目の関連は以下の通りとなる。

No.	インパクト	特定したインパクトの項目
①	ソーシャルインクルージョンの実現に向けた取組	ポジティブインパクト「雇用」「その他の社会的弱者」 ネガティブインパクト「年齢差別」「その他の社会的弱者」
②	従業員の安心・安全に配慮し、誰もが働きやすい職場環境の創出に向けた取組	ポジティブインパクト「雇用」 ネガティブインパクト「健康および安全性」「社会的保護」
③	保育の質の向上に向けた従業員のスキルアップ・キャリアアップへの取組	ポジティブインパクト「教育」 ネガティブインパクト「社会的保護」
④	ダイバーシティ経営に向けた取組	ポジティブインパクト「雇用」 ネガティブインパクト「健康および安全性」「その他の社会的弱者」
⑤	環境に配慮した取組	ネガティブインパクト「気候の安定性」
⑥	廃棄物削減に向けた取組	ネガティブインパクト「廃棄物」
⑦	外国人留学生に向けた取組	ネガティブインパクト「民族・人種平等」

4. KPIの決定

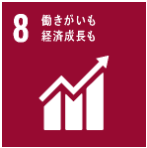
檸檬会の事業活動が社会・経済・自然環境に影響を与えるインパクトについて、重点目標に基づく取組と指標を設定した。以下がその要約となる。なお、設定したKPIのうち目標年度に達したものについては、再度の目標設定等を検討する。

テーマ	内容	KPI	SDGs
ソーシャルインクルージョンの実現に向けた取組	・ ソーシャルインクルージョンヴィレッジにおいて、多様な人材が活躍できる社会の実現に向けた取組を強化する ・ 児童発達支援事業を強化し、療育が必要な児童の支援環境を整備する ・ 就労継続支援事業を強化し、障がい者の就労環境を整備する	・ 2030年度までにレイモンドマネジメントの利用者延数を300名とする ・ 2030年度までにレイモンドカレッジの利用者延数を200名とする ・ 2030年度までにレイモンド学園奈良校の在籍者延数を180名とする ・ 2030年度までに奈良おもちゃ美術館での障がい者の就労者延数を65名とする ・ 新しい社会福祉事業創出に向けた産学官連携案件を年間3件実施する ・ 2030年度までに児童発達支援事業所の施設数を30施設まで増加 ・ 2030年度までに就労継続支援事業所の施設数を20施設まで増加	 
従業員の安心・安全に配慮し、誰もが働きやすい職場環境の創出に向けた取組	・ 法令を遵守して有給休暇も含む休日日数を完全消化することで常に健康を管理し健康体を保つ ・ 残業時間については、法令遵守は基よりDX化による業務の効率化と生産性を高め残業自体の発生を抑制する ・ 従業員が定期健康診断を受診するとともに、再検査受診率向上を目指し、従業員の健康保持増進に努める ・ 従業員の安全意識の向上を図り、労働災害の発生を防止する ・ 産休・育休は、男女問わず全員が取得できるようにする ・ 従業員の働きがい醸成に向けた取組を強化し、離職率を低減させる	・ 2030年度まで各年度の年次有給休暇取得率90%以上を維持する ・ 2030年度まで1人当たりの月平均残業時間を2時間以内を継続する ・ 2030年度まで全施設に対して労働災害事故発生防止に向けた勉強会を年間1件以上開催する ・ 2026年度までに男性の育児休暇取得率を70%以上とする ・ 2030年度までに従業員（正職員）の離職率を13%以内とする	 

テーマ	内容	KPI	SDGs
保育の質の向上に向けた従業員のスキルアップ・キャリアアップへの取組	- 従業員のスキルアップに向け、資格取得の支援を行う - マネジャー育成プログラムにより、従業員のキャリアアップを支援 - 厚生労働省のガイドラインに準拠したキャリアアップ研修などの行政研修を通じて、保育業界全体の底上げに貢献する - 保育者・保育学生・未就学児の保護者などを対象に、「子ども主体のつながる保育」や「保育とSDGs」などをテーマに定期的にオンラインセミナーを開催する	2030年度までに資格取得支援金制度（まなびサポート制度）の年間利用者数を100名以上とする 2030年度までにマネージャーチャレンジ制度の受験者数を年間100名とする 2030年度までにキャリアアップ研修などの行政研修の参加者数を累計10,000名以上とする 2030年度まで法人主催によるオンラインセミナーを年間10件実施する	 
ダイバーシティ経営に向けた取組	性別・障がいの有無などに捉われない多様な人材が活躍できる環境を整備する	2028年度までに「えるぼし認定」「くるみん認定」を取得し、継続する 2030年度まで障がい者雇用率4%以上を維持する	 
環境に配慮した取組	全施設のLED化を進め、CO2排出量削減に貢献する	2028年度までに全施設の照明設備をLEDに切り替える	

■ ポジティブインパクトとネガティブインパクトの内容

ソーシャルインクルージョンの実現に向けた取組

項目	内容
インパクトの種類	ポジティブインパクト・ネガティブインパクト
インパクトエリア・トピック	ポジティブインパクト「雇用」「その他の社会的弱者」 ネガティブインパクト「年齢差別」「その他の社会的弱者」
影響を与えるSDGsの目標	 
内容・対応方針	・ ソーシャルインクルージョンヴィレッジにおいて、多様な人材が活躍できる社会の実現に向けた取組を強化する ・ 児童発達支援事業を強化し療育が必要な児童の支援環境を整備する ・ 就労継続支援事業を強化し、障がい者の就労環境を整備する
毎年モニタリングする目標とKPI	・ 2030年度までにレイモンドマネジメントの利用者延数を300名とする（2023年度実績：10名） ・ 2030年度までにレイモンドカレッジの利用者延数を200名とする（2023年度実績：3名） ・ 2030年度までにレイモンド学園奈良校の在籍者延数を180名とする（2023年度実績：2名） ・ 2030年度までに奈良おもちゃ美術館での障がい者の就労者延数を65名とする（2023年度実績：なし） ・ 新しい社会福祉事業創出に向けた産学官連携案件を年間3件実施する（2023年度実績：3件） ・ 2030年度までに児童発達支援事業所の施設数を30施設まで増加（2023年度実績：2施設） ・ 2030年度までに就労継続支援事業所の施設数を20施設まで増加（2023年度実績：3施設）

【ソーシャルインクルージョンヴィレッジにおける取組】

<誰もが生き生きと学び、働ける場所の創出>

檸檬会では、13ページから16ページに記載の通り、奈良県生駒郡三郷町にある学校法人奈良学園の跡地の一部を活用した「FSS35（サンゴ）キャンパス」内に、ソーシャルインクルージョンを実現する新しいコンセプトの「教育と福祉の総合コミュニティ」として「ソーシャルインクルージョンヴィレッジ」を開設した。

ソーシャルインクルージョンヴィレッジでは、2023年4月より就労継続支援事業A・B型（レイモンドマネジメント）・就労移行支援事業（レイモンドカレッジ）・広域通信制高校（レイモンド学園奈良校）の事業を開始しており、様々な個性を持った人の誰もが生き生きと学び、働くことができる場所を創出している。今後も、各施設の利用者や在籍者数を増やしていく方針である。

◆各施設の利用者・在籍者数

	2023年度
レイモンドマネジメント 利用者数	10名
レイモンドカレッジ 利用者数	3名
レイモンド学園奈良校 在籍者数	2名

<多世代が一緒に遊び、学べる「木育」の浸透>

檸檬会では、16ページに記載の通り、2025年3月20日に「奈良おもちゃ美術館」を開館した。奈良おもちゃ美術館は、赤ちゃんからお年寄りまで多世代が一緒に遊び、学べる「木育」がテーマの体験型施設である。

また、「奈良おもちゃ美術館」がおもちゃ学芸員としてシニア人材の就労機会となるだけでなく、障がい者の新たな就労機会にも繋がるものにしたいと考えている。檸檬会では、「奈良おもちゃ美術館」が、おもちゃ美術館として全国初となる「年齢、国籍、人種、障がいの有無に関係なく誰もが働けるインクルージョンなおもちゃ美術館」となることを目指している。

檸檬会では、「インクルージョンなおもちゃ美術館」となることを目指し、「奈良おもちゃ美術館」での障がい者の就労者延数を増やしていく方針である。

<新たな社会福祉事業の創出>

檸檬会では、障がい者が活躍できる就労機会の増加に繋がるような新しい社会福祉事業を創出するべく、「社会福祉×〇〇」をスローガンに、様々な大企業との連携に取り組んでいる。

具体的な事例については、以下の通りである。

ソフトバンク株式会社	情報セキュリティインフラ網整備（障がい者就労に関するIT技術活用）
トヨタ自動車株式会社	製造工程における障がい者の作業機会創出を目的としたトヨタの新規事業である「ミハナ」と連携し、製造業の業務課題解決（障がい者雇用支援）
上場食品メーカー	季節商品の詰め合わせ業務（障がい者人材活用）

檸檬会では、今後も障がい者における就労機会の増加に繋がるような新しい社会福祉事業を創出していくことで、障がい者の就労機会増加を目指すとともに、企業側が障がい者雇用を積極的に取り組めるようなモデルケースを構築していきたいと考えている。今後も、新しい社会福祉事業創出に向けた産学官連携に取り組んでいく方針である。

【児童発達支援および就労継続支援の強化に向けた取組】

檸檬会では、教育・保育に留まることなく、「障がいの有無に関わらず、誰もが人生を楽しみ、躍動する機会を得られる社会」をつくるため、児童発達支援事業と障がい者の就労支援に注力している。

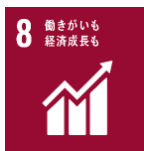
児童発達支援事業においては、10ページに記載の通り、檸檬会の保育施設運営のノウハウを生かした、専門的な支援体制を構築している。発達に課題のある子どもたちが、将来の社会的な自立に向けて、療育による適切なサポートを受けることは重要であることから、今後も施設数を増やし、発達に課題のある子どもたちとその家族を支援していく方針である。

また、障がい者の就労支援事業においては、11ページ・12ページに記載の通り、障がい者における働くための訓練やサポートを行う就労移行支援事業から、障がい者の働く場所を提供する就労継続支援事業まで、檸檬会で一貫したサポート体制を構築している。今後も就労支援事業所の施設数を増やし、障がい者の社会的自立を支援していく方針である。

◆各事業所の施設数

	2023年度
児童発達支援事業所の施設数	2施設
就労継続支援事業所の施設数	3施設

従業員の安心・安全に配慮し、誰もが働きやすい職場環境の創出に向けた取組

項目	内容
インパクトの種類	ポジティブインパクト・ネガティブインパクト
インパクトエリア・トピック	ポジティブインパクト「雇用」 ネガティブインパクト「健康および安全性」「社会的保護」
影響を与えるSDGsの目標	 
内容・対応方針	- 法令を遵守して有給休暇も含む休日日数を完全消化することで常に健康を管理し健康体を保つ - 残業時間については、法令遵守は基よりDX化による業務の効率化と生産性を高め残業自体の発生を抑制する - 従業員が定期健康診断を受診するとともに、再検査受診率向上を目指し、従業員の健康保持増進に努める - 従業員の安全意識の向上を図り、労働災害の発生を防止する - 産休・育休は、男女問わず全員が取得できるようにする - 従業員の働きがい醸成に向けた取組を強化し、離職率を低減させる
毎年モニタリングする目標とKPI	2030年度まで各年度の年次有給休暇取得率90%以上を維持する（2023年度実績：80%） 2030年度まで1人当たりの月平均残業時間を2時間以内を継続する（2023年度実績：3時間） 2030年度まで全施設に対して労働災害事故発生防止に向けた勉強会を年間1件以上開催する（2023年度実績なし） 2026年度までに男性の育児休暇取得率を70%以上とする（2023年度実績：62.5%） 2030年度までに従業員（正職員）の離職率を13%以内とする（2023年度実績：18.1%）

【年次有給休暇取得に向けた取組】

檸檬会では、従業員一人ひとりが働きやすさを感じる、魅力的な職場環境の実現のため、有給休暇取得を取りやすい雰囲気作りに努めており、従業員はほぼ希望通り有給休暇を取得出来ている。

その結果、檸檬会における従業員一人当たりの年次有給休暇取得率は、厚生労働省の令和6年就労条件総合調査における年次有給休暇取得率65.3%を大きく上回っている。引続き有給休暇取得を取りやすい環境整備に取り組んでいく方針である。

◆年次有給休暇取得率推移

2021年度	2022年度	2023年度
83%	80%	80%

【残業時間の抑制に向けた取組】

残業時間については、法令遵守は基より、ICTの活用により、業務効率化、時間外労働時間および退社時刻の管理を徹底することで、残業自体の発生を抑制している。引続き、残業時間の抑制を図り、従業員のワークライフバランスの実現に取り組んでいく方針である。

◆1人当たりの月平均残業時間推移

2021年度	2022年度	2023年度
3.2時間	3.2時間	3時間

【従業員（正職員）の定期健康診断再検査受診率向上に向けた取組】

定期健康診断については、法令に則り、従業員全員が年1回受診している。また、保育施設では園児と関わる上での衛生管理や福利厚生観点から、パートタイムを含めた全従業員に対して採用時の健康診断も実施している。また、35歳以上の従業員に対しては生活習慣病予防健診も促進している。

健康診断結果は各施設長で確認し、異常所見があった場合は、地域産業保健センターの医師の意見聴取を行うとともに、再検査受診率向上を目指すなど、従業員の健康保持増進に努めている。

◆定期健康診断および再検査受診率推移

	2021年度	2022年度	2023年度
定期健康診断受診率	100%	100%	100%

【労働災害事故発生防止に向けた取組】

労働災害事故発生防止については、全施設に対して、労働災害事故発生の防止に向けた意識向上に努めている。直近3年間においては、労働災害事故発生の防止に向けた勉強会を開催しておらず、今後は年間1件以上開催することで、更なる意識向上に取り組んでいく方針である。

◆労働災害事故発生推移

	2021年度	2022年度	2023年度
労働災害事故発生件数	8件	32件	30件
休業4日以上死傷者数（※）	2人	5人	3人
平均労働者数	1,369人	1,483人	1,605人
休業4日以上労働災害年千人率	1.46	3.37	1.86

※ 休業4日以上労働災害事故については、業務に起因する骨折・転倒・腰痛等

【産休・育休取得に向けた取組】

産休・育休については、法人内で「産休・育休ガイドブック」にて周知し、男女問わず、希望する従業員は全員取得しており、女性従業員の取得率は100%である。今後は、男性従業員の育児休暇取得率向上に向け取り組んでいく方針である。

◆男性従業員の育児休暇取得率推移

2021年度	2022年度	2023年度
66.7%	66.7%	62.5%

【従業員のストレスチェックについての取組】

ストレスチェックについては、法令に則り、50名以上在籍している事業所においては、従業員がメンタル不調になることを未然に防止するため、年1回のストレスチェックを実施している。従業員のストレスの程度を把握するとともに、従業員自身へもストレスへの気づきを促している。

【従業員の働き方支援に向けての取組】

檸檬会では、従業員の働き方支援に向けて、以下の通りに様々な取組を行っている。

メンター制度

- 新卒者など経験の浅い従業員（メンティ）が、経験豊かな先輩従業員（メンター）と一対一の関係を築き、仕事をする上での課題や悩みを一緒に解決し、働きやすい環境を作っていく制度

表彰制度（れもんアワーズ）

- 従業員の働く姿や、今をよりよくするアイデアを評価し表彰する制度
- 表彰の対象（勤続10年ごとに表彰・年間MVPに選考された授業員・「もっとこうしたら良くなる」提案をした従業員など）

宿舍借り上げ支援制度（月最大8.2万円まで）

- 希望された物件を檸檬会が借上げ、かかる家賃の全額または一部を補助する制度

職場復帰支援金制度（最大10万円）

- 保育士のブランクのある方の職場復帰を応援することを目的に、職場に復帰された方に就業支援金を支給する制度（雇用形態・勤務時間により異なる）

・メンター制度

新卒者など経験の浅い職員（メンティ）と経験豊富な先輩職員（メンター）が1対1で関係を築き、仕事の課題や悩みなどの相談・解決・サポートを行う制度である。また、定期的なメンターの研修やメンターアドバイザー（メンターのメンタ）の設置、他園のメンターやメンティとの交流なども実施しており、檸檬会全体で経験の浅い職員のフォローに取り組んでいる。

・表彰制度（れもんアワーズ）

従業員に対して、勤続年数、「こうしたらもっと良くなる」といったアイデアの提案、法人本部が掲げるテーマに合った年間MVPの選出など、様々な分野や切り口で従業員を表彰する制度である。

従業員の働く姿や、今をよりよくするアイデアの発信などを評価する社風により、働きやすい環境整備に取り組んでいる。 出所）同会ホームページ

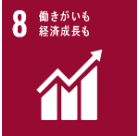


檸檬会では、上記のようなメンター制度や表彰制度などの従業員のモチベーションアップに繋がる制度などを整備しており、働き甲斐のある職場環境の醸成に取り組んでいる。また、年4回のエンゲージメント調査を実施し、3ヶ月毎の調査結果を比較・分析することで、職場課題を可視化し、従業員満足に繋がる施策立案や業務改善に取り組んでいる。

◆従業員離職率推移

2021年度	2022年度	2023年度
16.3%	16.3%	18.1%

保育の質の向上に向けた従業員のスキルアップ・キャリアアップへの取組

項目	内容
インパクトの種類	ポジティブインパクト・ネガティブインパクト
インパクトエリア・トピック	ポジティブインパクト「教育」 ネガティブインパクト「社会的保護」
影響を与えるSDGsの目標	 
内容・対応方針	- 従業員のスキルアップに向け、資格取得の支援を行う - マネージャーチャレンジ制度により従業員のキャリアアップを支援 厚生労働省のガイドラインに準拠したキャリアアップ研修などの行政研修を通じて、保育業界全体の底上げに貢献する - 保育者・保育学生・未就学児の保護者などを対象に、「子ども主体のつながる保育」や「保育とSDGs」などをテーマに定期的にオンラインセミナーを開催する
毎年モニタリングする目標とKPI	2030年度までに資格取得支援金制度（まなびサポート制度）の年間利用者数を100名以上とする（2023年度実績：87名） 2030年度までにマネージャーチャレンジ制度の受験者数を年間100名とする（2023年度実績：58名） 2030年度までにキャリアアップ研修などの行政研修の参加者数を累計10,000名以上とする（2023年度累計実績：1,577名） 2030年度まで法人主催によるオンラインセミナーを年間10件実施する（2023年度実績：5件）

【資格取得支援金制度（まなびサポート制度）】

従業員のスキルアップを促進・支援するために、資格取得にかかる講習費用を上限2万円まで支給する制度である。該当する資格の一例は以下の通りである。

事務資格

- ・ワード（MOS2016以降） スペシャリスト／エキスパート
- ・エクセル（MOS2016以降） スペシャリスト／エキスパート
- ・パワーポイント（MOS2016以降） スペシャリスト

保育中に役立つ資格

- ・絵本専門士
- ・おもちゃコーディネイター
- ・おもちゃコンサルタント

教育資格

- ・保育英検 1級／準1級／2級／3級

環境系資格

- ・こども環境管理士 1級／2級
- ・公認ネイチャーゲームリーダー

保育についての資格

- ・チャイルドマインダー／認定病児保育スペシャリスト
- ・幼児体育指導者検定プロフェッサー 1級／2級／3級
- ・発達障害コミュニケーション指導者 初級／中級／上級
- ・子育てアドバイザー／グループトリプルP
- ・子どもへの暴力防止のための基礎講座／CAPスペシャリスト養成講座

美術系資格

- ・臨床美術士
- ・絵画指導員インストラクター
- ・カラーコーディネイター 1級／2級／3級

2021年度から同制度を開始したこともあり、初年度の利用者数が突出しているが、檸檬会としては、引続き従業員のスキルアップを支援するためにも、同制度を活用した資格取得支援を推奨していく方針である。

◆資格取得支援金制度（まなびサポート制度）の年間利用者数推移

2021年度	2022年度	2023年度
279名	84名	87名

【マネージャーチャレンジ制度】

檸檬会では、「マネジメント職を学びたい」「マネジメント職にチャレンジしたい」と考えている従業員を支援するために、「マネージャーチャレンジ制度」を整備している。

「マネージャーチャレンジ制度」は、実務経験5年以上の従業員を対象に年2回募集している公募型研修である。「マネージャーチャレンジ制度」の公募に合格した従業員は、「マネージャー育成プログラム（Lemon College Program）」に1年間参加することで、マネジメント能力を養うことができ、今後のキャリアアップに繋げることができる。

檸檬会では、従業員に対して意欲があれば何でもチャレンジできるという環境を整備することで、モチベーションアップ・働き甲斐の醸成を図っており、引続き取り組んでいく方針である。

◆マネージャーチャレンジ制度の年間利用者数推移

2021年度	2022年度	2023年度
47名	37名	58名

【檸檬会の研修事業について】

檸檬会では、外部の保育施設や保育士などに向けた研修事業を行っている。具体的には、2023年度より東京都の指定を受け、厚生労働省のガイドラインに準拠した「保育士等キャリアアップ研修」を実施している。「保育士等キャリアアップ研修」とは、職務内容に応じた専門性向上やリーダー的職員育成を目的とした研修機会の充実化を図るため、2017年に厚生労働省がガイドラインを定めた制度であり、保育の質の向上と保育士の処遇改善に寄与している。



出所）同会ホームページ

檸檬会が実施する「保育士等キャリアアップ研修」は、厳しい要件をクリアした経験豊富な保育者が講義を担当し、実践的な保育スキルの向上に向けたノウハウを提供している。また、グループディスカッションも積極的に取り入れ、受講者同士の意見交換などを行う機会を設けている。なお、すべての講義はオンライン受講が可能であるため、東京都以外からの受講や業務・子育ての合間など、自身のスタイルに合った方法で無理なく受講することができる。

また、東京都が推進する「とうきょう すくわくプログラム（※）」においても、外部の保育施設に向けてセミナーを開催し、檸檬会が取り組んでいる探究的な保育ノウハウを提供している。

※ すべての乳幼児の「伸びる・育つ（すくすく）」と「好奇心・探究心（わくわく）」を応援する幼保共通のプログラム

檸檬会では、保育業界全体における保育の質の向上に貢献したいという思いから、引続き積極的に研修事業に取り組んでいく。

◆檸檬会が実施する行政研修の年間参加者推移

2023年度
1,577名

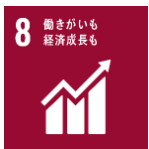
【保育者・保育学生・未就学児の保護者などを対象オンラインセミナーの実施】

檸檬会では、保育者・保育学生・未就学児の保護者などを対象に、「子ども主体のつながる保育」や「保育とSDGs」などをテーマに定期的にオンラインセミナーを開催している。檸檬会の副理事長で教育学博士でもある青木 一永氏が講師を務め、檸檬会が運営する保育施設での実践事例などを通して、檸檬会の保育理念の普及に取り組んでおり、今後も継続して実施していく方針である。

◆檸檬会が実施するオンラインセミナー開催件数の推移

2021年度	2022年度	2023年度
4件	9件	5件

ダイバーシティ経営に向けた取組

項目	内容
インパクトの種類	ポジティブインパクト・ネガティブインパクト
インパクトエリア・トピック	ポジティブインパクト「雇用」 ネガティブインパクト「健康および安全性」「その他の社会的弱者」
影響を与えるSDGsの目標	 
内容・対応方針	性別・障がいの有無などに捉われない多様な人材が活躍できる環境を整備する
毎年モニタリングする目標とKPI	2028年度までに「えるぼし認定」「くるみん認定」を取得し、継続する 2030年度まで障がい者雇用率4%以上を維持する（2023年度実績：5.4%）

【女性活躍に向けた取組】

檸檬会では、性別や年齢を問わずあらゆる人材を採用して、従業員の個性と能力を発揮できるダイバーシティ経営に取り組んでいる。檸檬会では、女性従業員の管理職への登用も積極的に行い、性別関係なく全ての人が活躍できる職場環境づくりを実践している。現在、檸檬会における従業員の男女比率については女性90%・男性10%となっており、うち女性管理職の割合は68.7%である。今後、女性の更なる活躍をより推進していくために、「えるぼし認定」「くるみん認定」の取得に向け、取り組んでいく方針である。

【障がい者雇用に向けた取組】

檸檬会では、11ページに記載の通り、就労移行支援事業所を運営しており、障がい者の一般企業への就労に関するサポートを行っている。さらに、12ページに記載の通り、障がい者と直接雇用契約を締結する就労継続支援A型事業所の運営も行っている。

檸檬会では、障がいの有無にかかわらず、やりがいを持って働くことができる社会づくりを目指している。今後、ソーシャルインクルージョンヴィレッジの本格稼働に加え、各施設数の増加などの業容拡大に取り組んでいる背景も勘案し、障がい者雇用率については、法定雇用率の水準を大きく上回る4%以上を維持していく方針である。

◆障がい者雇用率推移

2021年度	2022年度	2023年度
2.2%	3.6%	5.4%

環境に配慮した取組

項目	内容
インパクトの種類	ネガティブインパクト
インパクトエリア・トピック	ネガティブインパクト「気候の安定性」
影響を与えるSDGsの目標	
内容・対応方針	全施設のLED化を進め、CO2排出量削減に貢献する
毎年モニタリングする目標とKPI	2028年度までに全施設の照明設備をLEDに切り替える

【環境負荷軽減に向けた取組】

檸檬会では、環境負荷軽減に向けた取組として、随時、施設の照明設備を省エネ効果の高いLEDへの切替を進めており、全105施設のうち22施設についてはLED化は完了している。

今後、2028年度までに全施設の照明設備をLED化する方針である。

その他、檸檬会がインパクトとして特定した項目の中で、KPIとして目標を設定しなかったものについて、以下にその取組を要約する。

テーマ	内容	SDGs
廃棄物削減に向けた取組	- 廃棄物の適切処理 - 各施設において、子どもたちが主体となる食品ロスに向けた様々なプロジェクトの実施	

【廃棄物削減に向けた取組】

インパクトエリア・トピック：ネガティブインパクト「廃棄物」

<廃棄物の適切処理>

檸檬会では、事業活動の中で様々な廃棄物が発生するため、専門の処理業者と契約を締結し、法令に則り、適切に管理・処理している。排出される廃棄物には、事務関係の紙、厨房から出る食品残渣、使用済みの紙おむつといった一般廃棄物や産業廃棄物などがあり、それぞれに収集・運搬・処分を行う専門業者へ委託し、適切に処理している。

<子どもたちが主体となる食品ロスに向けた様々なプロジェクトの実施>

檸檬会では、「持続可能な社会づくりは大人だけで実現できるものではなく、未来への好循環のバトンを繋ぐ必要がある」という考えで、ESD（Education for Sustainable Development・持続可能な開発のための教育）に注力している。その一環で、各施設が独自に子どもたちが主体となる食品ロスに向けた様々なプロジェクトに取り組んでいる。具体的なプロジェクト例の一部は、以下の通りである。

・「かわさきSDGs大賞2024」地域社会部門最優秀賞に選定

レイモンド元住吉保育園では、神奈川県川崎市の「かわさきSDGsパートナー」の優れた取組を表彰する「かわさきSDGs大賞2024」にて、『身近なひと・もの・ことに主体的に関わる幼児期のESD～野菜栽培から「わたしたちに何ができるかな」～』という取組が評価され、最優秀賞に選出された。

この活動は、子どもたちが野菜栽培の難しさや給食の廃棄野菜のもったいなさに気づいたことをきっかけに、廃棄野菜を使った紙づくりなどに発展した。保育者は、保護者の協力も得ながら、子どもの声を積極的に取り入れつつ、たくさんの企業や団体と繋がり、コンポスト・農業体験・種まきワークショップなどの取組に発展し、子どもが自然や地球について学ぶ機会が深まっている。

出所) 同会ホームページ



この活動は「子どもの声」がきっかけとなり、子どもたちが主体的に取り組んでいる。檸檬会の職員は「子どもの声」を拾い上げ、環境を用意した上で必要に応じてサポートを行っている。

・地域のパン屋と連携した食品ロス削減に向けた取組

レイモンド茅ヶ崎保育園では、茅ヶ崎市役所と市内のパン屋と連携し、月2回ほど夕方に園内でパンを販売する「おむかえパン」を実施している。「おむかえパン」とは、茅ヶ崎市が物価高騰などの影響を受けた市内飲食事業者の食品ロス削減を目的に、市内の保育施設とパン屋のマッチングを行っており、近隣の飲食店における食品ロス削減に貢献している。また、保護者がお迎え時にパンを買って帰ることができるといった子育て支援にも繋がっている。



出所) 同会ホームページ

テーマ	内容	SDGs
外国人留学生に向けた取組	外国人留学生に対して、保育士養成学校に通うための学費を奨学金として提供し、保育士資格取得を支援する	

【外国人留学生に向けた取組】

インパクトエリア・トピック：ネガティブインパクト「民族・人種平等」

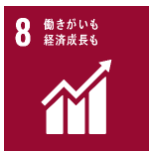
・外国人留学生に対して日本式の保育を学ぶ機会を提供し、保育士資格取得を支援

檸檬会では、日本式の保育を学んでもらうために、外国人留学生に対して、保育士養成学校に通うための学費を奨学金として提供し、保育士資格取得のサポートを行っている。また、保育士資格取得後は、檸檬会で保育士として採用し、現場で日本式の保育を学んでもらえる環境を整備している。

5. インパクトの種類、SDGs、貢献分類、影響を及ぼす範囲

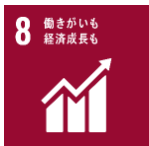
檸檬会の事業活動は、SDGsの17のゴールと169のターゲットに以下のように関連している。

ソーシャルインクルージョンの実現に向けた取組

SDGsの17目標	ターゲット	内容
	8.5	2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する
	8.8	移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。
	10.2	2030年までに、年齢、差別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全て人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。

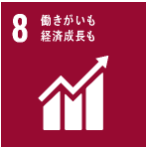
期待されるターゲットの影響：ソーシャルインクルージョンの実現により、多様な価値観や個性を持った人々が活躍できる社会の創造に貢献する。

従業員の安心・安全に配慮し、誰もが働きやすい職場環境の創出に向けた取組

SDGsの17目標	ターゲット	内容
	3.4	2030年までに、非感染性疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健及び福祉を促進する。
	8.5	2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する
	8.8	移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。

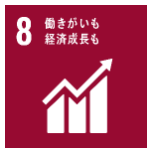
期待されるターゲットの影響：従業員の健康維持・増進、働き甲斐の醸成に貢献する。

保育業界全体における保育の質の向上に向けたスキルアップ・キャリアアップへの取組

SDGsの17目標	ターゲット	内容
 4 質の高い教育をみんなに	4.4	2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。
 8 働きがいも経済成長も	8.5	2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する

期待されるターゲットの影響：保育業界全体における保育の質の向上に貢献する。

ダイバーシティ経営に向けた取組

SDGsの17目標	ターゲット	内容
 8 働きがいも経済成長も	8.5	2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する
	8.8	移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。
 10 人や国の不平等をなくそう	10.2	2030年までに、年齢、差別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全て人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。

期待されるターゲットの影響：障がい者が働きやすい環境整備をはじめ、全ての年代、性別などの従業員が働き甲斐を持てる職場づくりを通じて、ダイバーシティの推進に貢献する。

環境に配慮した取組

SDGsの17目標	ターゲット	内容
 13 気候変動に具体的な対策を	13.1	全ての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靱性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する。

期待されるターゲットの影響：CO2排出量削減に取り組むことで、環境負荷軽減に貢献する。

廃棄物削減に向けた取組

SDGsの17目標	ターゲット	内容
	12.5	2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

期待されるターゲットの影響：廃棄物の適切処理や、各施設において子どもたちが主体となる食品ロスに向けた様々なプロジェクトの実施により、廃棄物の削減に貢献する。

外国人留学生に向けた取組

SDGsの17目標	ターゲット	内容
	10.2	2030年までに、年齢、差別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全て人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。

期待されるターゲットの影響：外国人留学生に対して、日本での保育士資格取得を支援し、ソーシャルインクルージョンを実現する。

6. サステナビリティ経営体制（推進体制、管理体制、実績）

本ポジティブインパクトファイナンスに取り組むにあたり、檸檬会では前田 効多郎理事長を最高責任者とし、事業活動とインパクトレーダー、SDGsとの関連性、KPIの設定について検討を重ね、取組内容の抽出を行っている。本ポジティブインパクトファイナンス実行後においても、従業員一人一人が目標達成に向けて取り組み、社会的な課題解決への貢献とともに持続的な経営の実現を目指していく。各KPIはソーシャルインクルージョンヴィレッジが統括し達成度合いをモニタリングしていく。

檸檬会では下記推進体制の構築により、地域における社会的課題や環境問題にも積極的に取り組み、国内をリードしていく企業を目指す。バリューチェーンの観点では、環境汚染や人権問題等に配慮された調達・製造・販売・使用・処分を行なうことが責務であるとの認識のもと、環境・健康配慮を徹底した事業展開を実施していく。

社会福祉法人檸檬会の最高責任者	理事長 前田 効多郎
社会福祉法人檸檬会のモニタリング担当者	ソーシャルインクルージョンヴィレッジ 村長 鈴木 麻友子
担当部	ソーシャルインクルージョンヴィレッジ

7. 南都銀行によるモニタリングの頻度と方法

本ポジティブインパクトファイナンスで設定したKPIの達成及び進捗状況については、南都銀行と檸檬会の担当者が定期的に会合の場を設け、共有する。会合は少なくとも年に1回実施するほか、日頃の情報交換や営業活動の場等を通じて実施する。

具体的には決算が3月のため、9月に関連する資料を南都銀行が受領し、モニタリングとなる指標についてフィードバック等のやりとりを行う。南都銀行は、KPI達成に必要な資金及びその他ノウハウの提供、あるいは南都銀行の持つネットワークから外部資源とマッチングすることで、KPI達成をサポートする。

モニタリング期間中に達成したKPIに関しては、達成後もその水準を維持していることの確認、または、南都銀行と檸檬会の協議の上で新たなKPIの再設定を行う。加えて、経営環境の変化などによりKPIを変更する必要がある場合は、南都銀行と檸檬会が協議の上で再設定を検討する。

モニタリング方法	対面、Web会議等、モニタリング方法の指定はない 定例訪問などを通じて情報交換を行う
モニタリングの実施時期、頻度	毎年9月に年1回程度実施する
モニタリングした結果のフィードバック方法	KPI等の指標の進捗状況を確認する 必要に応じてKPI達成のために必要なノウハウの提供、外部資源とのマッチングを検討するなどKPI達成をサポートする

以上

本評価書に関する重要な説明

1. 本評価書は、南都コンサルティング株式会社が、南都銀行から委託を受けて実施したもので、南都コンサルティング株式会社が南都銀行に対して提出するものです。
2. 南都コンサルティング株式会社は、依頼者である南都銀行および南都銀行がポジティブ・インパクト・ファイナンスを実施する社会福祉法人檸檬会から供与された情報と、南都コンサルティング株式会社が独自に収集した情報に基づく、現時点での計画または状況に対する評価で将来におけるポジティブな成果を保証するものではありません。
3. 本評価を実施するに当たっては、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した「ポジティブ・インパクト金融原則」および「資金使途を限定しない事業会社向け金融商品のモデル・フレームワーク」に適合させるとともに、ESG金融ハイレベル・パネル 設置要綱第2項（4）に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に整合させながら実施しています。なお、株式会社日本格付研究所から、本ポジティブ・インパクト・ファイナンスに関する第三者意見書の提供を受けています。

<本件に関するお問い合わせ先>

南都コンサルティング株式会社

マネージャー 大谷 岳

〒630-8677

奈良県奈良市大宮町四丁目297番地の2

TEL:0742-93-3102 FAX:0742-93-3103

第三者意見書

2025 年 3 月 27 日
株式会社 日本格付研究所

評価対象：

社会福祉法人檸檬会に対するポジティブ・インパクト・ファイナンス

貸付人：株式会社南都銀行

評価者：南都コンサルティング株式会社

第三者意見提供者：株式会社日本格付研究所（JCR）

結論：

本ファイナンスは、国連環境計画金融イニシアティブの策定した「ポジティブ・インパクト金融原則」及び「資金用途を限定しない事業会社向け金融商品のモデル・フレームワーク」に適合している。

また、環境省の ESG 金融ハイレベル・パネル設置要綱第 2 項（4）に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」と整合的である。

I. JCR の確認事項と留意点

JCR は、株式会社南都銀行（「南都銀行」）が社会福祉法人樟葉会（「樟葉会」）に対して実施する中小企業向けのポジティブ・インパクト・ファイナンス（PIF）について、南都コンサルティング株式会社（「南都コンサルティング」）による分析・評価を参照し、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）の策定した「ポジティブ・インパクト金融原則」及び「資金使途を限定しない事業会社向け金融商品のモデル・フレームワーク」（モデル・フレームワーク）に適合していること、環境省の ESG 金融ハイレベル・パネル設置要綱第 2 項（4）に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」と整合的であることを確認した。

PIF とは、持続可能な開発目標（SDGs）の目標達成に向けた企業活動を、金融機関等が審査・評価することを通じて促進し、以て持続可能な社会の実現に貢献することを狙いとして、当該企業活動が与えるポジティブなインパクトを特定・評価の上、融資等を実行し、モニタリングする運営のことをいう。

ポジティブ・インパクト金融原則は、4つの原則からなる。すなわち、第 1 原則は、SDGs に資する三つの柱（環境・社会・経済）に対してポジティブな成果を確認できること、なおかつネガティブな影響を特定し対処していること、第 2 原則は、PIF 実施に際し、十分なプロセス、手法、評価ツールを含む評価フレームワークを作成すること、第 3 原則は、ポジティブ・インパクトを測るプロジェクト等の詳細、評価・モニタリングプロセス、ポジティブ・インパクトについての透明性を確保すること、第 4 原則は、PIF 商品が内部組織または第三者によって評価されていることである。

UNEP FI は、ポジティブ・インパクト・ファイナンス・イニシアティブ（PIF イニシアティブ）を組成し、PIF 推進のためのモデル・フレームワーク、インパクト・レーダー、インパクト分析ツールを開発した。南都銀行は、中小企業向けの PIF の実施体制整備に際し、南都コンサルティングと共同でこれらのツールを参照した分析・評価方法とツールを開発している。ただし、PIF イニシアティブが作成したインパクト分析ツールのいくつかのステップは、国内外で大きなマーケットシェアを有し、インパクトが相対的に大きい大企業を想定した分析・評価項目として設定されている。JCR は、PIF イニシアティブ事務局と協議しながら、中小企業の包括分析・評価においては省略すべき事項を特定し、南都銀行及び南都コンサルティングにそれを提示している。なお、南都銀行は、本ファイナンス実施に際し、中小企業の定義を、ポジティブ・インパクト金融原則等で参照している IFC（国際金融公社）の定義に加え、中小企業基本法の定義する中小企業、会社法の定義する大会社以外の企業としている。

JCR は、中小企業のインパクト評価に際しては、以下の特性を考慮したうえでポジティブ・インパクト金融原則及びモデル・フレームワークとの適合性を確認した。

- ① SDGs の三要素のうちの経済、ポジティブ・インパクト金融原則で参照するインパクトエリア/トピックにおける社会経済に関連するインパクトの観点からポジティブな成果が期待できる事業主体である。ソーシャルボンドのプロジェクト分類では、雇用創出や雇用の維持を目的とした中小企業向けファイナンスそのものが社会的便益を有すると定義されている。
- ② 日本における企業数では全体の約 99.7%を占めるにもかかわらず、付加価値額では約 56.0%にとどまることからみてもわかるとおり、個別の中小企業のインパクトの発現の仕方や影響度は、その事業規模に従い、大企業ほど大きくはない。¹
- ③ サステナビリティ実施体制や開示の度合いも、上場企業ほどの開示義務を有していないことなどから、大企業に比して未整備である。

II. ポジティブ・インパクト金融原則及びモデル・フレームワークへの適合に係る意見

ポジティブ・インパクト金融原則 1 定義

SDGs に資する三つの柱（環境・社会・経済）に対してポジティブな成果を確認できること、なおかつネガティブな影響を特定し対処していること。

SDGs に係る包括的な審査によって、PIF は SDGs に対するファイナンスが抱えている諸問題に直接対応している。

南都銀行及び南都コンサルティングは、本ファイナンスを通じ、檸檬会の持ちうるインパクトを、UNEP FI の定めるインパクトエリア/トピック及び SDGs の 169 ターゲットについて包括的な分析を行った。

この結果、檸檬会がポジティブな成果を発現するインパクトエリア/トピックを有し、ネガティブな影響を特定しその低減に努めていることを確認している。

SDGs に対する貢献内容も明らかとなっている。

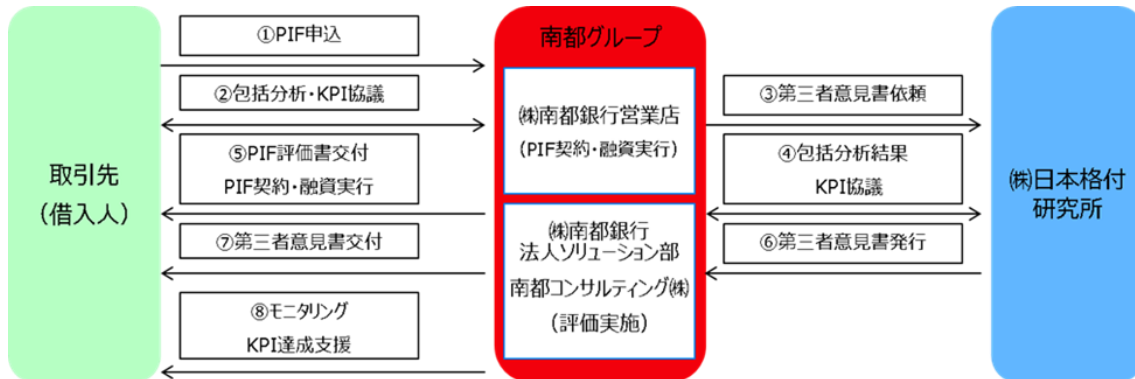
ポジティブ・インパクト金融原則 2 フレームワーク

PIF を実行するため、事業主体（銀行・投資家等）には、投融資先の事業活動・プロジェクト・プログラム・事業主体のポジティブ・インパクトを特定しモニターするための、十分なプロセス・方法・ツールが必要である。

JCR は、南都銀行が PIF を実施するために適切な実施体制とプロセス、評価方法及び評価ツールを確立したことを確認した。

¹ 令和 3 年経済センサス・活動調査。中小企業の区分は、中小企業基本法及び中小企業関連法令において中小企業または小規模企業として扱われる企業の定義を参考に算出。業種によって異なり、製造業の場合は資本金 3 億円以下または従業員 300 人以下、サービス業の場合は資本金 5,000 万円以下または従業員 100 人以下などとなっている。小規模事業者は製造業の場合、従業員 20 人以下の企業をさす。

(1) 南都銀行は、本ファイナンス実施に際し、以下の実施体制を確立した。



(出所：南都銀行提供資料)

(2) 実施プロセスについて、南都銀行では社内規程を整備している。

(3) インパクト分析・評価の方法とツール開発について、南都銀行からの委託を受けて、南都コンサルティングが分析方法及び分析ツールを、UNEP FI が定めた PIF モデル・フレームワーク、インパクト分析ツールを参考に確立している。

ポジティブ・インパクト金融原則 3 透明性

PIF を提供する事業主体は、以下について透明性の確保と情報開示をすべきである。

- ・本 PIF を通じて借入人が意図するポジティブ・インパクト
- ・インパクトの適格性の決定、モニター、検証するためのプロセス
- ・借入人による資金調達後のインパクトレポート

ポジティブ・インパクト金融原則 3 で求められる情報は、全て南都コンサルティングが作成した評価書を通して南都銀行及び一般に開示される予定であることを確認した。

ポジティブ・インパクト金融原則 4 評価

事業主体（銀行・投資家等）の提供する PIF は、実現するインパクトに基づいて内部の専門性を有した機関または外部の評価機関によって評価されていること。

本ファイナンスでは、南都コンサルティングが、JCR の協力を得て、インパクトの包括分析、特定、評価を行った。JCR は、本ファイナンスにおけるポジティブ・ネガティブ両側面のインパクトが適切に特定され、評価されていることを第三者として確認した。

III. 「インパクトファイナンスの基本的考え方」との整合に係る意見

インパクトファイナンスの基本的考え方は、インパクトファイナンスを ESG 金融の発展

形として環境・社会・経済へのインパクトを追求するものと位置づけ、大規模な民間資金を巻き込みインパクトファイナンスを主流化することを目的としている。当該目的のため、国内外で発展している様々な投融資におけるインパクトファイナンスの考え方を参照しながら、基本的な考え方をとりまとめているものであり、インパクトファイナンスに係る原則・ガイドライン・規制等ではないため、JCR は本基本的考え方に対する適合性の確認は行わない。ただし、国内でインパクトファイナンスを主流化するための環境省及び ESG 金融ハイレベル・パネルの重要なメッセージとして、本ファイナンス実施に際しては本基本的考え方に整合的であるか否かを確認することとした。

本基本的考え方におけるインパクトファイナンスは、以下の 4 要素を満たすものとして定義されている。本ファイナンスは、以下の 4 要素と基本的には整合している。ただし、要素③について、モニタリング結果は基本的には借入人である檸檬会から貸付人である南都銀行及び評価者である南都コンサルティングに対して開示がなされることとし、可能な範囲で对外公表も検討していくこととしている。

要素① 投融資時に、環境、社会、経済のいずれの側面においても重大なネガティブインパクトを適切に緩和・管理することを前提に、少なくとも一つの側面においてポジティブなインパクトを生み出す意図を持つもの

要素② インパクトの評価及びモニタリングを行うもの

要素③ インパクトの評価結果及びモニタリング結果の情報開示を行うもの

要素④ 中長期的な視点に基づき、個々の金融機関/投資家にとって適切なリスク・リターンを確保しようとするもの

また、本ファイナンスの評価・モニタリングのプロセスは、本基本的考え方で示された評価・モニタリングフローと同等のものを想定しており、特に、企業の多様なインパクトを包括的に把握するものと整合的である。

IV. 結論

以上の確認より、本ファイナンスは、国連環境計画金融イニシアティブの策定したポジティブ・インパクト金融原則及びモデル・フレームワークに適合している。

また、環境省の ESG 金融ハイレベル・パネル設置要綱第 2 項（4）に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」と整合的である。



JCR Sustainable
PIF for SMEs

(第三者意見責任者)
株式会社日本格付研究所
サステナブル・ファイナンス評価部長

梶原 敦子

梶原 敦子

担当主任アナリスト

川越 広志

川越 広志

担当アナリスト

菊池 理恵子

菊池 理恵子

本第三者意見に関する重要な説明

1. JCR 第三者意見の前提・意義・限界

日本格付研究所（JCR）が提供する第三者意見は、事業主体及び調達主体の、国連環境計画金融イニシアティブの策定した「ポジティブ・インパクト金融原則」及び「資金使途を限定しない事業会社向け金融商品のモデル・フレームワーク」への適合性及び環境省 ESG 金融ハイレベル・パネル内に設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」への整合性に関する、JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該ポジティブ・インパクト金融がもたらすポジティブなインパクトの程度を完全に表示しているものではありません。

本第三者意見は、依頼者である調達主体及び事業主体から供与された情報及び JCR が独自に収集した情報に基づく現時点での計画又は状況に対する意見の表明であり、将来におけるポジティブな成果を保証するものではありません。また、本第三者意見は、ポジティブ・インパクト・ファイナンスによるポジティブな効果を定量的に証明するものではなく、その効果について責任を負うものではありません。本事業により調達される資金が同社の設定するインパクト指標の達成度について、JCR は調達主体または調達主体の依頼する第三者によって定量的・定性的に測定されていることを確認しますが、原則としてこれを直接測定することはありません。

2. 本第三者意見を作成するうえで参照した国際的なイニシアティブ、原則等

本意見作成にあたり、JCR は、以下の原則等を参照しています。

国連環境計画金融イニシアティブ

「ポジティブ・インパクト金融原則」

「資金使途を限定しない事業会社向け金融商品のモデル・フレームワーク」

環境省 ESG 金融ハイレベル・パネル内ポジティブインパクトファイナンスタスクフォース

「インパクトファイナンスの基本的考え方」

3. 信用格付業にかかるとの関係

本第三者意見を提供する行為は、JCR が関連業務として行うものであり、信用格付業にかかるとは異なります。

4. 信用格付との関係

本件評価は信用格付とは異なり、また、あらかじめ定められた信用格付を提供し、または閲覧に供することを約束するものではありません。

5. JCR の第三者性

本ポジティブ・インパクト・ファイナンスの事業主体または調達主体と JCR との間に、利益相反を生じる可能性のある資本関係、人的関係等はありません。

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、事業主体または調達主体及び正確に信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると暗示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。本第三者意見は、評価の対象であるポジティブ・インパクト・ファイナンスにかかる各種のリスク（信用リスク、価格変動リスク、市場流動性リスク、価格変動リスク等）について、何ら意見を表明するものではありません。また、本第三者意見は JCR の現時点での総合的な意見の表明であって、事実の表明ではなく、リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。本第三者意見は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■用語解説

第三者意見：本レポートは、依頼者の求めに応じ、独立・中立・公平な立場から、銀行等が作成したポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書の国連環境計画金融イニシアティブの「ポジティブ・インパクト金融原則」及び「資金使途を限定しない事業会社向け金融商品のモデル・フレームワーク」への適合性について第三者意見を述べたものです。
事業主体：ポジティブ・インパクト・ファイナンスを実施する金融機関をいいます。
調達主体：ポジティブ・インパクト・ビジネスのためにポジティブ・インパクト・ファイナンスによって借入を行う事業会社等をいいます。

■サステナブル・ファイナンスの外部評価者としての登録状況等

- ・国連環境計画 金融イニシアティブ ポジティブインパクト作業部会メンバー
- ・環境省 グリーンボンド外部レビュー者登録
- ・ICMA (国際資本市場協会に外部評価者としてオブザーバー登録) ソーシャルボンド原則作業部会メンバー
- ・Climate Bonds Initiative Approved Verifier (気候債イニシアティブ認定検証機関)

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル